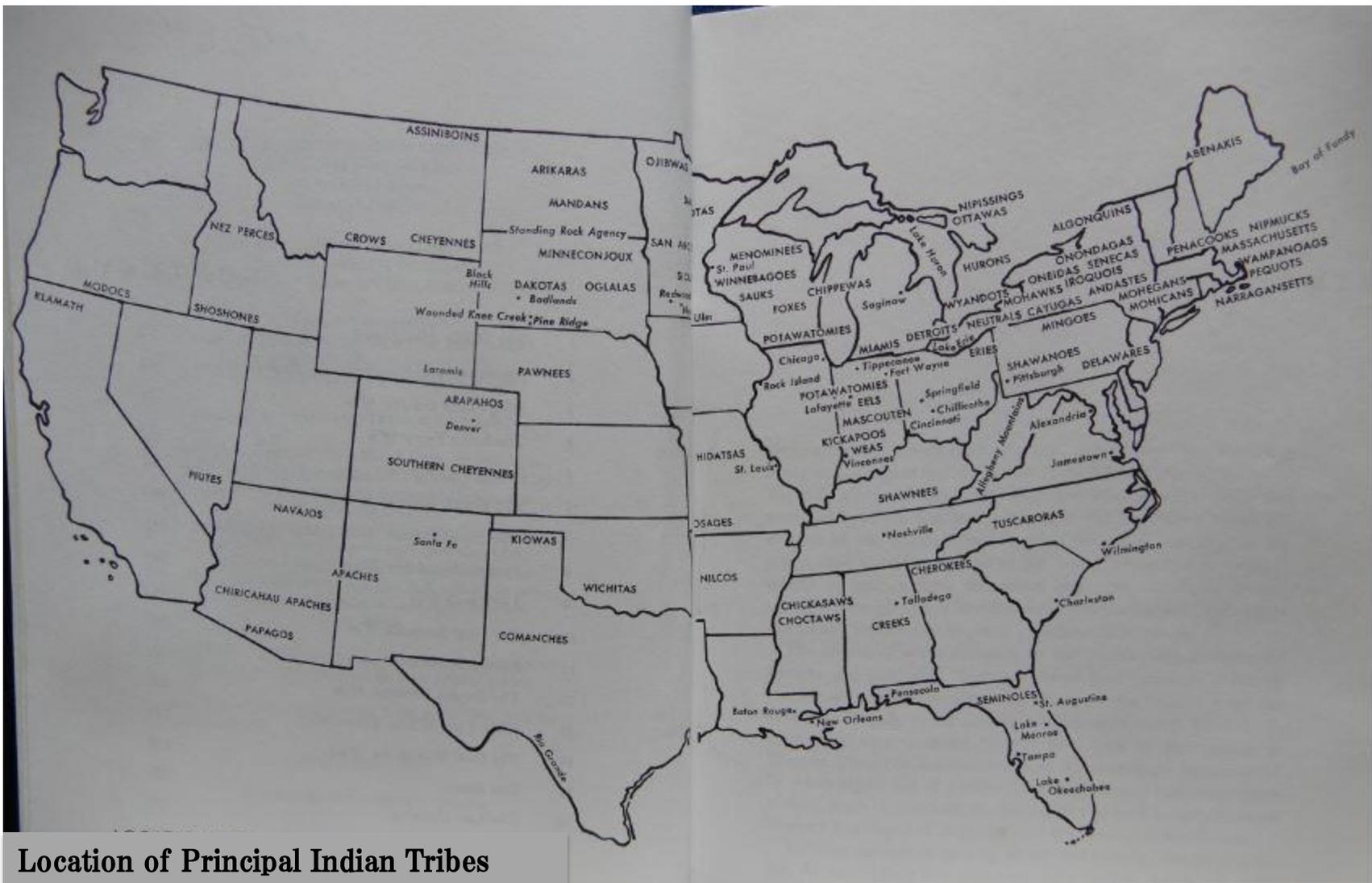


# THE AMERICAN INDIAN WARS

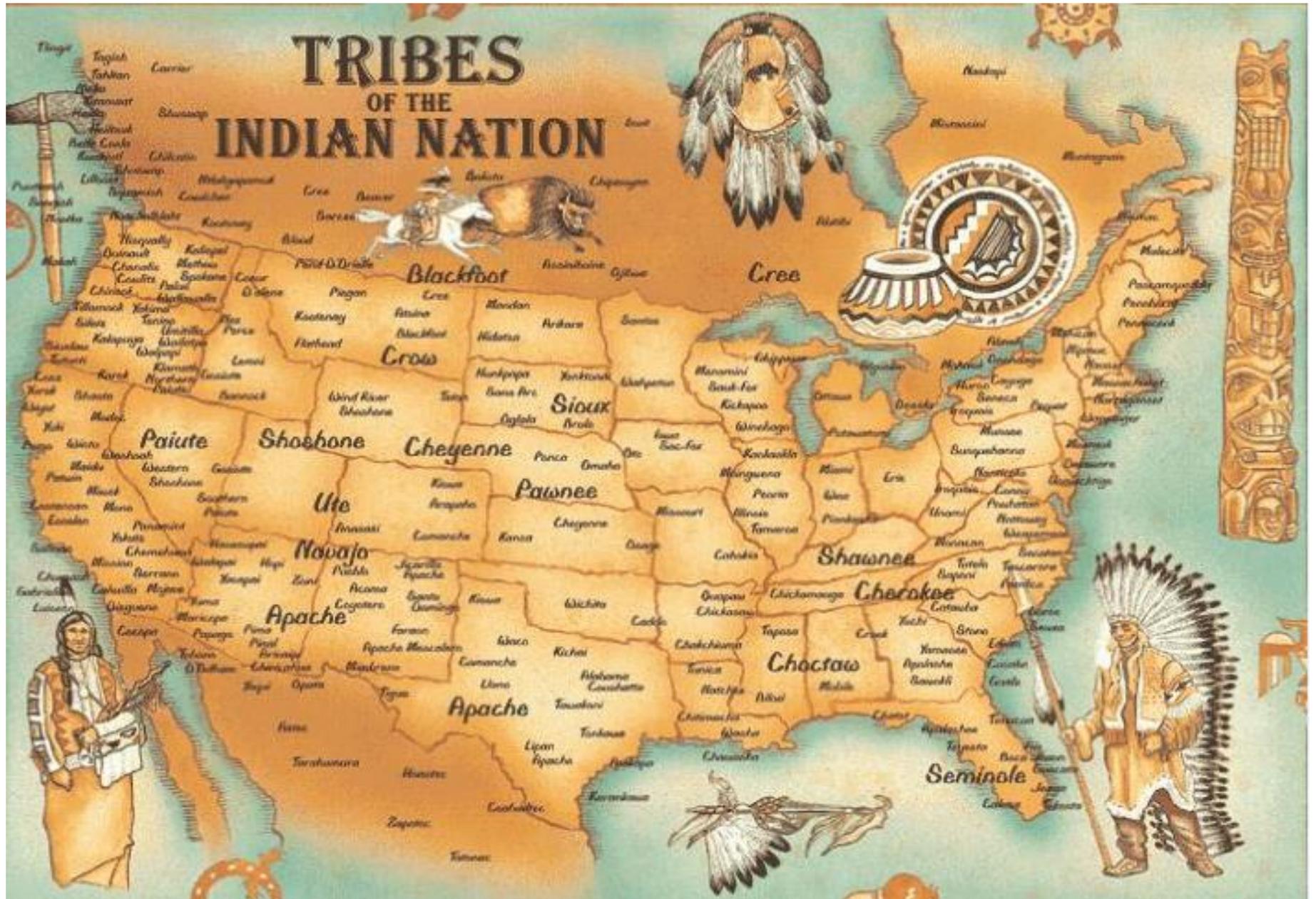


**John Tebble & Keith Jennison**



Location of Principal Indian Tribes

# TRIBES OF THE INDIAN NATION



# The American Indian Wars

アメリカ大陸

植民地

ヨーロッパ・世界

1524	白人が来た	←	大航海時代 スペイン・フランス・イギリス
		JAMESTOWNの戦闘	
1607	白人を助ける	PLYMOUTH Wampanags 族 協定	Rio Grande De Soto フランス人宣教師
1620		MAYFLOWAR 号	
1636~ 37	Pequot 戦争	民族浄化(インディアン戦争)	
1675~ 76	King Philip`s 戦争 (Wampanoags 族)	インディアンとイギリス との戦い	
1675	イロクォイ同盟		

フレンチーインディアン戦争

インディアン

七年戦争 1754~1763  
プロイセンとオーストリア

インディアンが割れる

イギリス

七年戦争

フランス

フランスをカナダに追い出す

戦争にインディアンが  
必要無くなった

イギリスの植民地が西部に進出

1760 ポンティアックの陰謀

1775~1783

Fort Midilimackinacの戦い

アメリカ独立戦争

インディアンに対する新しい国の闘争



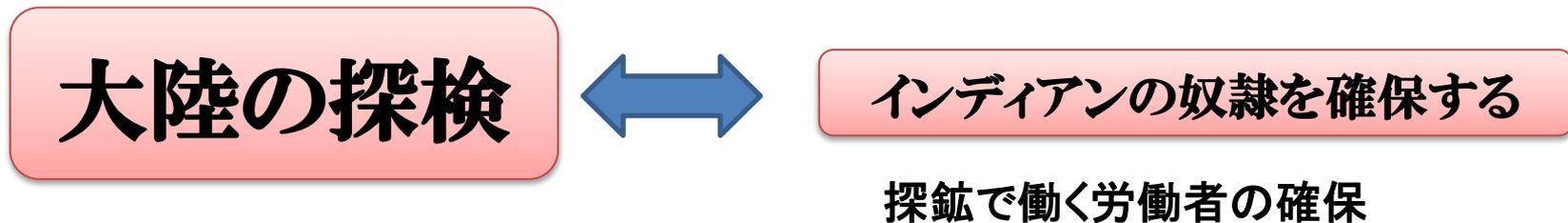
## 1865～ 最後の反乱

- 1866 Tuk-a -Ba-Tahe-Mico の大同盟  
Bozeman Trail の攻防  
Red Cloud と Carrington  
の対立
- 1868 George Crook 将軍 Sioux 族連合体  
～71 Apache “チリガサア” との対立
- 1874 Modoc 戦争 Captain Jack のだまし討ち
- 1876 Black Hills の戦い Crazy Horse  
～77 Sitting Bull  
インディアンは勝ったが、  
戦争そのものを失った
- 1877 Nez Perés 戦争 酋長Joseph 2000miles 闘  
いの旅
- 1876 Geronimo の戦い  
～86 Parker の “Plains Indians”
- 1888 Ghost Dance
- 1890 Wounded Knee Massacre



# The White Man Comes





Caspar Corte Real (ポルトガル人) は、インディアンの原住民地を

Labrador

“働く者が溢れるほどいる場所” と呼んだ

1524

# インディアンと白人との出会い

Giovanni de Verrazano

Wilmingtonに到着  
(ノースカロライナ)



New York



Long Island



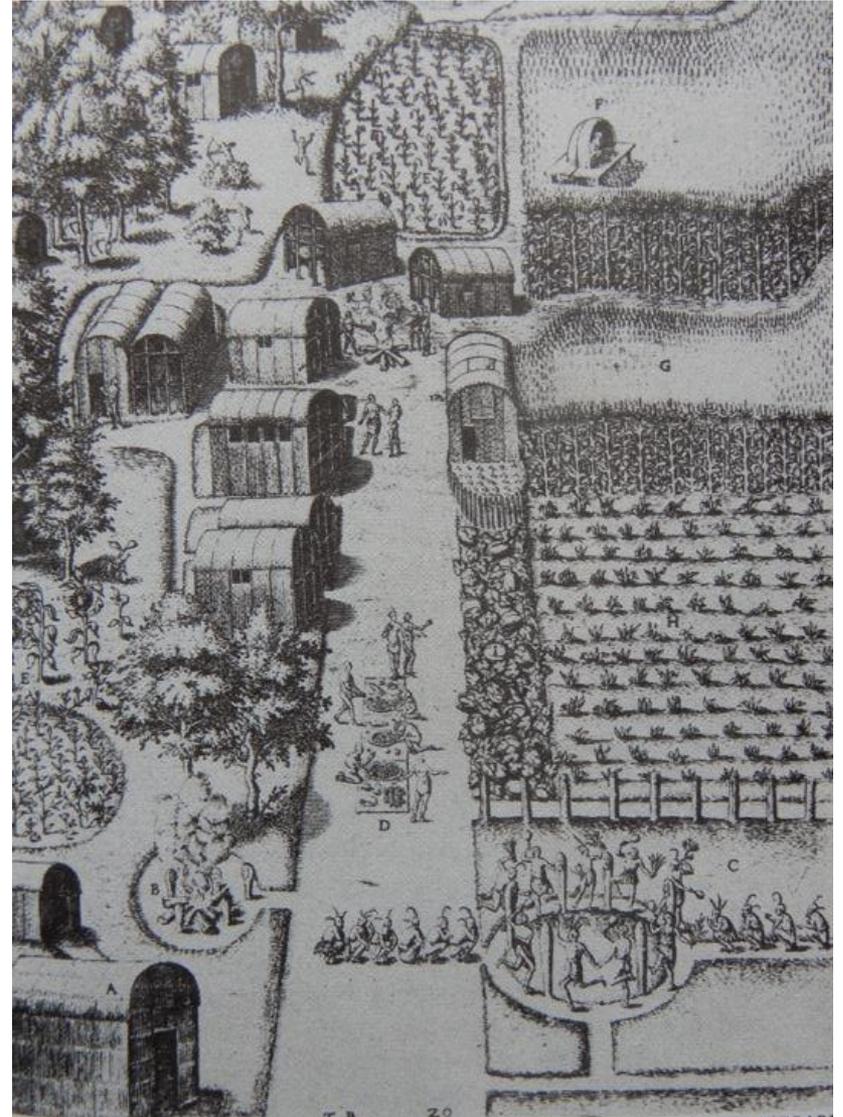
Block Island



Newport Harbor



New England



# 1500年代 スペインの探検家たち

Rio Grande

Ponce de León  
9年前にフロリダに来ていた。

部下に“土地を求め  
るな!”と警告

金を求めて



フロリダ



ジョージア



Gulf Coast

Lucas Vasquez de Ayllon

ハイチ、ジョージア、サウスカロライナの海岸を急襲

100人以上のインディアンの奴隷を確保

Hernando de Soto

ペルーの征服者 Pizarroの同伴者

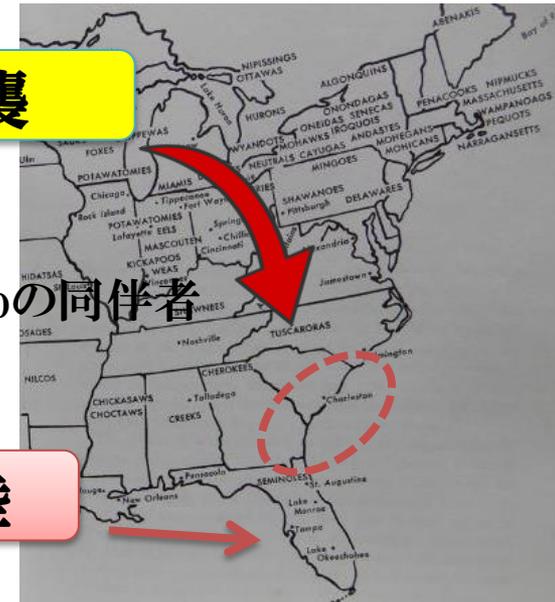
インディアンを殺すような娯楽を随分と与えられた者

1540～1542 de Sotoと600人の兵

タンパに上陸

フロリダからテネシーに行軍

生き残り311人となり、3年間放浪の旅



## Nilcoのインディアンを襲撃

De Sotoは、食糧を確保するため  
100人の戦士を含め、村人を殺害

## De Sotoはミシシッピー川を発見

ジョージア海岸からミシシッピーの対岸に  
いたインディアン達が始めてみた白人

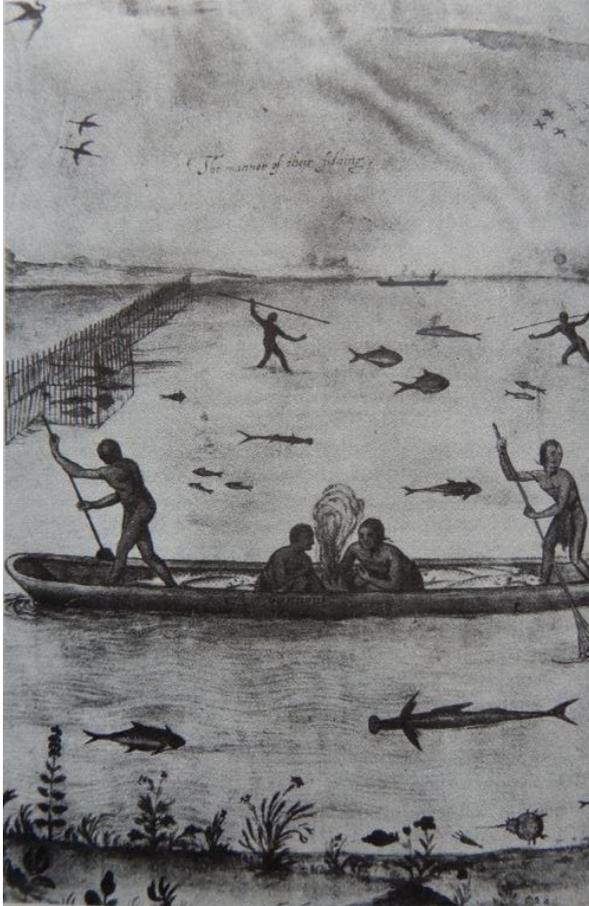
## インディアンの世界

平和であり、白人を気前よく歓迎していた……が、  
彼らの行いを見て、  
白人の侵入者たちは、信用できず、そして、  
彼らの目的は、平和的なお互いの関係では  
無く、むき出しになった征服である、と感じた。

## まだ、戦争は始まっていない

白人たちは探検をするために来たのではなく、こ  
こに留まり、村に居続け、インディアン領域に  
無慈悲に入り込んでいる……ことを学んだ

衝突の始まり





西部への進出

Plymouth

May Flower のイギリスの出発地

外国の国同士の戦い

フランスとイギリスとの間での、北アメリカを求める巨大な闘争  
インディアンを同盟者となる様にせがんだ。

インディアン同士の代理戦争

- “7年戦争”
- “独立戦争”
- “1812年の戦争”

# 辺境地の開拓が始まる

Jamestown,  
Plymouth



## JAMESTOWN

1607 イギリス人がやって来た……彼らは原住民の信頼を勝ち得ていた。

John Smithの助命を嘆願する Pocanhontas ( by Chappel )



ハチ、西インド諸島の酋長

### Jamestownの戦闘

**Powhatan酋長**

Wa-hun-sen-a-cawh  
インディアン名



**John Smith**

スペイン

平和的關係

**Opechancanough**

1623.3 植民地を襲撃  
347人を殺害

Powhatanの弟、彼の死後酋長となった。

Pocanhontas ( Powhatanの娘 )  
John Rolfeと結婚 (1613)

仕返し… 裏切りと大虐殺



**これが戦争のはじまり**

**22年間**

**Opechancanoughの仕返し**

インディアンの同盟をつくり

バージニアの600マイル四方からイギリスを追い出す

1644の春

500人以上の入植者達  
が殺される

York川、Panunkey川に沿っ  
た入植地



William Berkeley知事が  
強力な軍隊を組織

これが、強かった !!!!!!!

Opechancanough は、銃で撃たれ、捕獲され、  
Jamestownに運ばれ、Berkeleyの見世物にされた。

群衆の前で、次のように言った

“もし、Sir. William Berkeleyを囚人とすることが私の運命であったなら、私は、彼を私に従う者達の前に、みすぼらしく晒すようなことはしないだろう。”

彼の死後、バージニアに再び平和が  
戻った。

# PLYMOUTH

イギリスの植民地 Plymouth  
Salem

★ May Flower号が到着する3年間に、New Englandに病気が大流行し、Rhode諸島からMain州にかけて、インディアンが大幅に減少していた。

★ **Massasoit酋長**

Ousamequin (黄色い羽根)  
インディアン名

Wampanags族の酋長で、白人に友好的だった。

Plymouthの植民地と仲良かった

May Flower号が到着した時の印象

“非常に頑丈な男で、なんでもできるような体格をしており、顔の表情は厳かで、そして、あまりしゃべらない。” 彼の全盛期だった。

Wampanags族は、協定を結んだが、彼らの土地は、酒のためにどんどんイギリス人に奪われてしまった。

イギリス人は、その土地を占有するのに何も残さずとっている。偉大なる酒・・・が、大地の見えるところから人々と払いのけている。



Carver知事とMassasoitとの面会 (H. L. Stevens.)

## Pequots族

Connecticut River 溪谷

### オランダ人の圧力

南部と西部から

土地を求めてConnecticut  
に移住をして来た。

Manhattan島、Hudson川の土地の所有者

### Massachusettsの入植者達

北部と東部から

### John Gallup

Block島の沖で釣  
りをしていた。

### 1636の夏

知人の船がインディアンに  
襲撃されていたのを発見

## Pequot War

インディアンを捕まえた。

インディアンは、Pequots族  
だった。

### Vain

マサチューセッツ知事

Block IslandのPequots族を皆殺し

Pequotは、インディアン同盟を造ることを策略

### Opechancanough

と手を組むことを考えた。

Narrangansetts を説得  
5000人の戦士がいた。 したが・・・

しかし、同盟は成立しなかった。

Pequots族は単独で戦うことにした。

Mochicansと同盟

John Mason

80人の白人

Uncas (Mochicans族の酋長)

John Underhill (Saybrook砦)

Pequots族の砦は頑丈だった。

5月25日 Masonは、燃えた木を砦の中の小屋に投げつけ、これを Underhillが真似した。 Masonの作戦が大成功

Mochicans族とNarragansetts族の大勝利

Pequots族が急激に衰退

勝利の帰りに、逃げたPequots族に襲われる。

Masonは、Pequots族の残った者を根絶しようとした

New London ~ Saybrookまでの領地を捕えた者を奴隷とした。

New England  
の戦い

へと続く

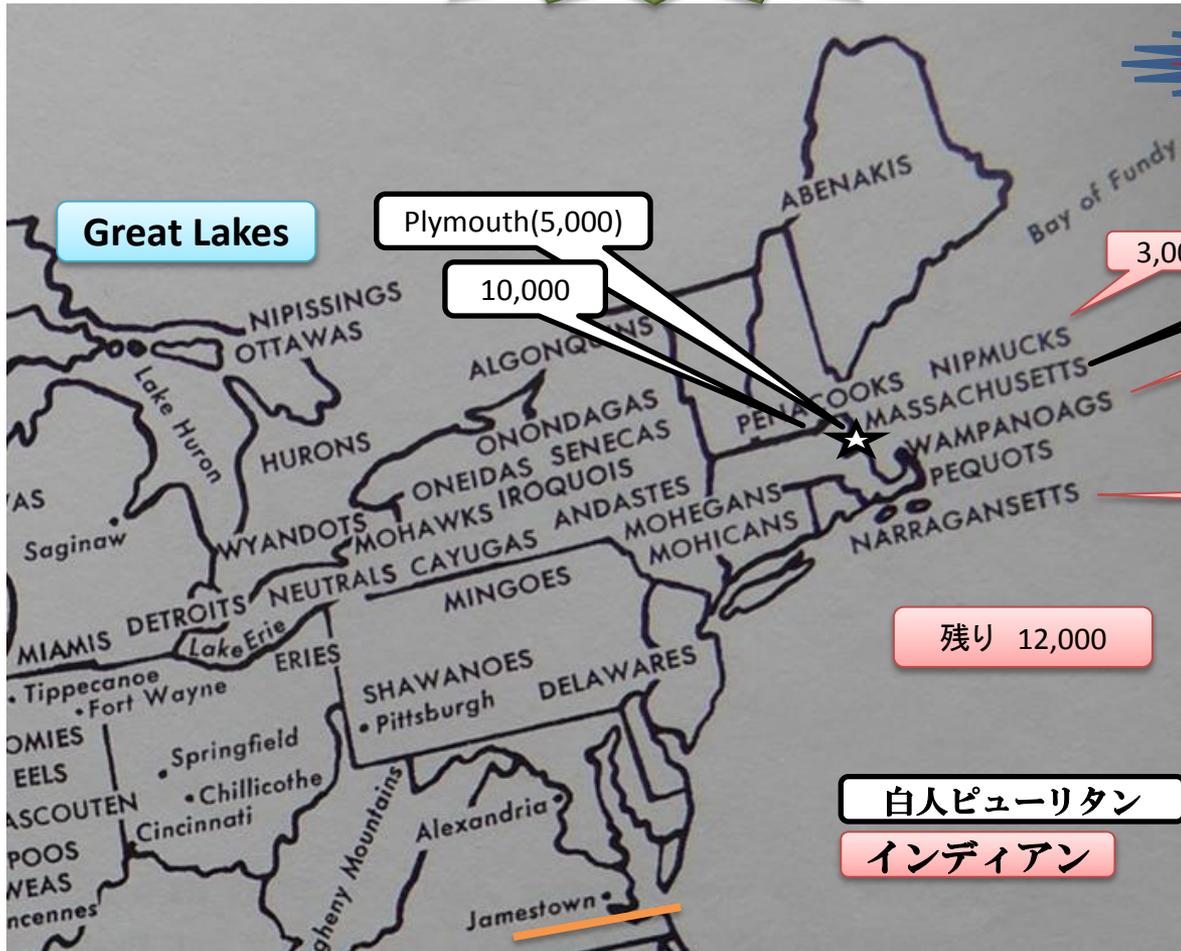
Philip  
Alexandre

とインディアンとの戦い



Pequots War ( A. R. Waud )

# King Philipの戦争



## 土地を巡る争い

### 生活様式の違い

土地は狩猟のためのインディアンの者、誰の土地でもない

イギリスは、法により治める  
法は、イギリス人のためのもの

イギリスが次第に経済的に支配してきた。

フランスの宣教師たち（イエズス会）との激しい競い合い

入植者達には、インディアンは邪魔者になって来た。

Rhode Islandsのインディアンは  
同盟の厄介者となる  
3,000~4,000

# Wampanoag族

Massasoit (中道的)

Wamsutta

(Alexander)

Metcomet

(Philip)

Massasoit が亡くなると、二人の兄弟は大胆な行動を取るようになり、これをイギリスは、戦争を企んでいると誤解

彼を呼んで尋問

Marshfieldで倒れ、死んだ。

Alexander の妻は、彼は毒を盛られたと・・・。

Philipが酋長になる

中道の道を選択

## 1667,1669 戦争

1671 Philipを呼んで武装解除を要請

武力では、イギリスに勝てないと判断

Philipは、服従の協定に署名  
極わずかのものが抵抗

Philipは、“同盟”を考えた

Algonkians語族の仲間達を説得

1675.1.29  
John Sassamonが死体で見つかる

インディアンだが、キリスト教徒として育ち、ハーバードを卒業、英語がはなせた。

屈辱の報復となる 50年の戦争の時代に突入

Philipの秘書となったが、実は“スパイ”

Plymouth当局にPhilipの陰謀を語る



King Philip

Sassamonを殺したのは

Tobias (Philip)の相談役  
Wampapaquan (Tobiasの息子)  
Mattashunnano (戦士)

吊るし首

Wampanoagsの反乱

イギリスとインディアンの戦い

Winslow

と

Philip

インディアンが  
Swanseaを襲撃

Taunto,  
Middeborough

救援隊の要請

Boston, Plymouthに

Dartmouth 襲撃

6/26 Samuel Mosely Oakes副官

インディアンは  
逃げ回る

7/8 新しい副官Benjamin Church Pocasset Neckに行軍

インディアンに包囲される。  
辛うじて救援隊に助けられる

Matthew Fuller大尉 Taunton RiverでPhilipを追い込んだ

勘違い  
Philipは、Connecticut に逃げていた。

Edward Hutchinson  
Thomas Wheeler の使節団

Nipmucks族の待  
ち伏せに会う

Hutchinsonは死に、Wheelerは  
Brookfield に逃げた



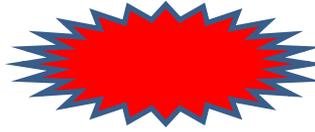
Brookfieldの攻撃

## 強力な軍隊をつくる

マサチューセッツ	520人
Plymouth	159人
コネチカット	300人

白人 80人が犠牲

Josiah Winslowが指揮



1675.1.19

---> インディアンはここを放火したが、救援隊に助けられる

インディアンは Narragansetts族 だけで、3500人

---> インディアンを湿地帯から追い出す  
600人が犠牲 (うち 20人が酋長)

インディアンを湿地帯から追い出すことに成功

1676.5.10 Turner大尉 ら100人の部隊

---> 油断をして、インディアンの襲撃にあう  
1/3が亡くなる。 大尉も死んだ。

生き残りの者達

Philipは生き残り

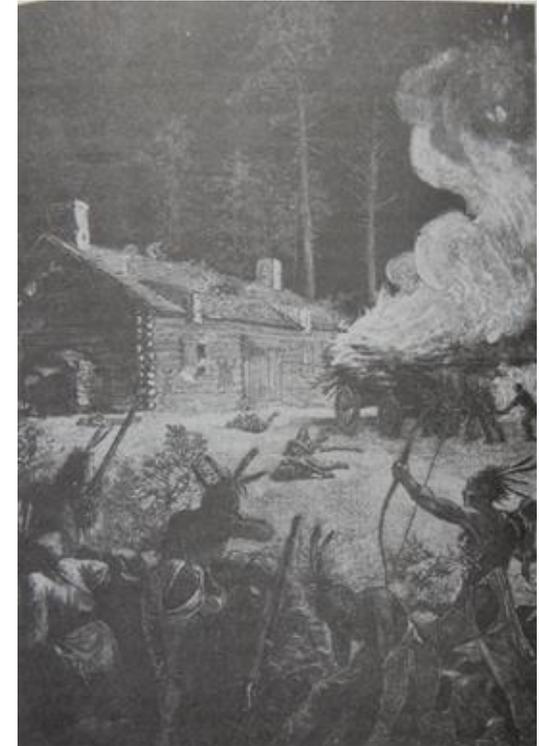
戦争は南部に移る

8.1 Church 大尉が攻撃

コネチカット、Rhode Islandは、マサチューセッツの苦勞してきたことを学んだ

Philipは、逃げたが、

イギリス人とインディアンの  
Aldermanと遭遇し、撃たれて  
死亡



Deerfieldの焼き討ち

Philip Warの終結



HadleyでのGoffe将軍によるインディアンへの反撃

# 7年戦争

の間に、何が起こったか。

1年前 1676

イロクォイ同盟

Philipの死

イロクォイ族は統制が取れていた

女達は選挙に参加  
財産の相続ができた

Puritan

入植者達が西に進出するには、Iroquois族は邪魔者

Mohawk River

Wisconsin  
Michigan  
Illinois

Huron

Pequots

Iroquois

これに対抗

Mochicans

Mohawk  
Cayugas

Eries

Iroquois族は、2200人の戦士がいたが、そのうちの800人は  
Hurons, Eries, Algonquinsのもの

イギリスとフランスの間に  
立たされた。

Huron族は、Algonquins 族語を話し、強力な野蛮国だった。

イロクォイ族にとっては、決しておそろしくはなかったが、同盟国が長い間（40年も）戦闘していた。

Algonquins

Virginia, New York  
Pennsylvania New England  
New Jersey Nova Scotia

これにより、22,000人(1630)が  
40年間で、2~300人に減少

部族の力

≡

戦士の数

7年戦争中

Huron族や他の部族を破壊したが、自分たちの弱体化となった。



Francis Parkman “お互いの破壊以外の何の目的もない”

# 7年戦争

フランス

フランスの植民地

インディアン

白人の犠牲になった

イギリス

イギリスの植民地

アメリカ

白人が征服するやり方を知る機会があったが、しなかった

分割して征服する

部族の分割

1689

カナダの統治官 Count Frontenac

Albanyを攻撃

210名で攻撃  
96人がイロクォイ族の者  
フランスの伝道師がイギリスと戦うように教育宣伝

イロクォイ族

フランス軍に参加する者

イギリス軍に残る者

イギリスは、イロクォイ族を自分達の臣下だと考えていた。

フランス軍が  
マサチューセッツ、  
メイン  
ニューハンプシャー

を統治  
小競り合いを  
治める



フランスと同盟



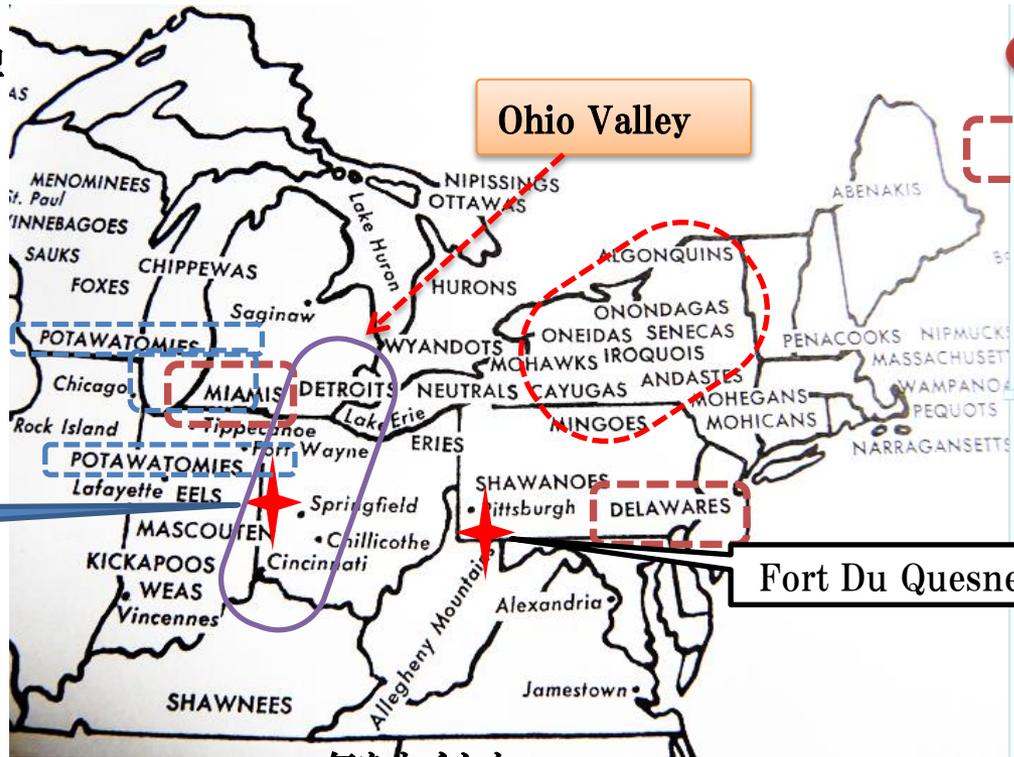
イギリス



イギリスと同盟



フランス軍



Ohio Valley

Fort Du Quesne

イギリスとイロquoイ同盟の間の軋轢  
フランスはこれを利用

Pickawillany

イギリス商人が新しい植民地を計画

Charle Langlade  
と250人の兵士

Senecaの酋長の  
Half Kingは、フランス軍に去るように主張



インディアンの中でも、イギリス側についた部族、フランス側についた部族があり、インディアン同士の戦いとなった。

Virginia 市民軍

とイギリス軍との戦い

アメリカ独立軍

George Washington 補佐官

Half King と仲がよかった。

フランスは、この間にインディアンの味方を造っていた。



Du Quesne の Pitts-Burgh 砦

-----> Hurons, Abenakis, Iroquoisの一部  
Nipissings, Algonquins 族など

Dinwiddie知事(Virginia)



Washington

“赤人と同盟することの価値”を知っていた。



フランス

との対立

インディアンの力をうまく利用していた。



Monongahela の戦いでの George Washington

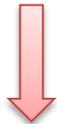
Seneca族の力を借り、フランスの偵察隊と衝突

Jumonvill が殺される

Contrecoeur指揮官

Fort Desquesne に集合

インディアンの多くの部族  
Hurons族など



これが7年戦争に

“火の世界を演出した” Parkman

独立軍は、Ohio Valleyに進出

Delawares族なども誘う



Monogahele川  
Allegheny川

の合流点で、仏軍が Ohio Companyの砦を陥落

Fort Duquesne とした。

一進一退

ここから、Sieur de Villersの遠征隊を出す

Great Meadowsを陥落

Half King が戻ってきた。

が

Dineddieからの支援が受けられず  
天候が悪くなり、武器が使えず

イギリスは、同盟した Senecas, Onondagas がらフランスの伝道師たちに引き込まれていくのに何もしなかった。

勝利を治める事ができず

Mohawks族との同盟の関係が切れた

Hendrick酋長がニューヨークを訪問したが

1754年7月4日  
Washingtonが降伏

Husson川峡谷のオランダ人が Mohawksの領地に侵入して来たのに 対しても何もしなかった。

## William Johnson の提案

Sir. Peter Warrenの甥  
Mohawk溪谷で生活していた。

イロクォイ族のリーダーと会い、協定  
を結び、彼らを味方にする

ニューヨーク、  
ペンシルバニア、  
メリーランド、  
その他の植民地  
がこれに賛成

Benjamin Frankも居  
たが、この時はそれほ  
ど強力ではなかった。

軍を編成

## Hendrick が指導

イロクォイの  
酋長達を説得

## “ワムパム”の鎖

Mochican族の生まれで、Mohawk族の  
養子となり、大酋長になった。  
Peter Schuyler大佐とともにイギリスに  
行き、Ann女王にもあった。

イロクォイ族は、フランスの流れに  
乗っていた。

イギリスが、約束を破り、裏  
切っただけで、ぞんざいにし  
ている間に、  
ずるくて、油断のならない  
フランス人がうまく割り込ん  
できた。

フランスを見てください。彼らはいたるところで砦を築いてい  
る。しかし、あなた方はまるで女のようなのです。  
砦もなし、むき出しで、開けっぴろげなのです。

## Dinwiddieが、イギリスに支援を嘆願

Edward Braddock少将を派遣

2個連隊  
Virginia で 200人

## Cumberland のDukeの計画

アメリカ人、  
インディアンを  
見下していた。

フランスを北  
のカナダに追  
い出す計画

Braddockは、軍を連れて Fort Duquesneに行くつもりだった。  
Shirley MA知事 Fort Niagaraに対抗して立ち上がった。  
William Johnson New Yorkから、Crown Point (フランスの本拠地)  
Monckton少准少将 Fort Beausejourへ、Acadia(Nova Scotia)を連れて



Niagara 砦の計画

1

1755年、春 Braddock

待ち伏せに会い、捕えられた

Fort Dequesneの守りは堅かった

140人のカナダ人  
800人のインディアン

{ Abenakis  
Hurons  
Potawatomies

砦の者達は、Braddockが来るのを知っていた。

Dukeの計画の1つが敗れた

Pontiac 酋長もいたのでは？

2

Johnson

Crown Pointの攻撃を打ち合わせ中

1100人のインディアンが逃げた、が

Mohawksの酋長のHendrickが味方に

イロクォイはフランスの見方だったが、カナダに行ってしまった者達とはともに戦わない。

フランスの指揮官 Dieskau(ドイツ人)

インディアンを指揮しなかった。

両方のインディアンが最初に対面したが、Dieskau下にいたイロクォイ族は狼煙を上げて、彼らの同族のために畏のあることをほとんど漏らしていた。

Hendrickは、この戦いで、フランスの兵士にころされた。

Johnsonの部下は退却

“血塗られた朝の斥候”

と、言われた戦いの一幕が閉じた、

両方のイロクォイ族の機嫌が悪くなった。

Mohawks族は、Hendrickの復讐を主張

Johnsonは、これを抑えた。

壮大な計画の2つ目の要素が失敗

4

Shirley知事

Fort Niagaraの攻撃

これも失敗

そこは、敵のマサチューセッツで、ここに住むことはできなかった。

イギリスは、フランスを追い出すことには失敗したが、北アメリカでの力を確固たるものにした。

1756.5.18 イギリスが宣戦布告

6.9 フランスが宣戦布告

ヨーロッパ全土が戦争に巻き込まれた

アメリカは、インドやアフリカと同様、ふたつの国々に属する島々となった。

その戦いの前線にインディアン同士の戦いが利用された。



1745年のLouisbourgでのNew England 軍の上陸

Johnsonは、

イギリスのために闘うように説得

フランスは、Montecalmが指揮。

そのまえに、イギリス、彼らの町の近くに砦を築くように

西へ移動していた。

Oswego Fort を占領

} を Ohio Valley に送り、闘わせた

Johnson は、イロクォイ族も自分達から離れて行くのを感じた。

11月にMontrealに派遣団を送ったが、・・・

知事のVaudereuilは、“私はOswegoを灰にする”と、言ってインディアンを毒づく。

Mohawkだけが、Johnsonに忠実だった。



インディアンは起こり、なだめたが、離れていった。



1757年、春 フランスは、Lake Georgeのイギリスを攻撃

Albernyへの道が開けた

Miconderogaに多くのインディアンが集まる8000人

8.8 イギリス軍は、William Henry 砦を放棄

沢山の人が囚人としてMontrealに連れて行かれた。

フランスは、後の戦いでインディアンを利用しようと、彼らの好きにさせた。

インディアンの荒れ放題

イギリスの巻き返し

数千人の正規軍。

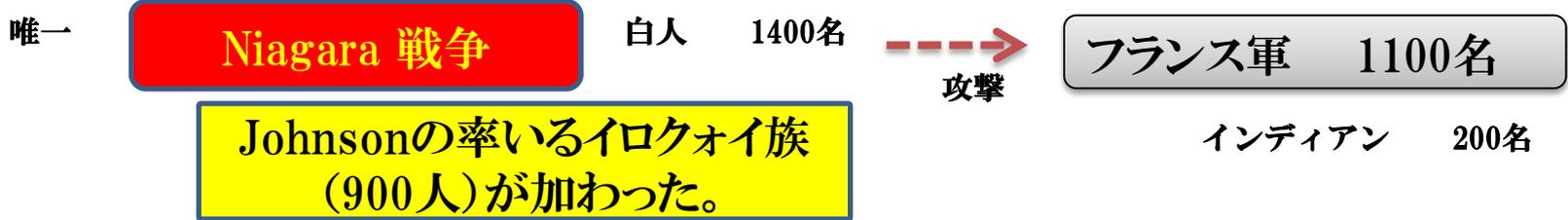
1758年、Jeffrey Amherst爵。

John Forbesが

Louisbourg砦を陥落。

Prince Edward Island Dequesne砦を陥落。

# 戦争にインディアンが必要なくなった。



1759 James Wolfe と Montecalm の戦い



Wolfe 将軍の死

Quebecが降伏  
Montrealの  
占領



Montcalm 将軍の死

ミシシッピー東部の  
インディアン

少ない報酬  
自分達は利用されたに過ぎない

1763 パリ協定で戦争が終結

フランス側についていたインディアンは  
イギリスや植民地の敵とみなされた



イギリスと植民地は  
西部へ大行進

インディアンの抵抗の幕が切って落とされた。

# ポンティアックの陰謀

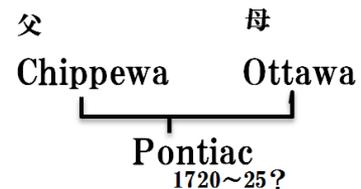
歴史学者

## “Pontiac and Indian Uprising”

Howard Peckham



ヨーロッパの最高潮の帝国主義的な闘争を止めた者のやり方は、どんなものだったのか？  
4つの部族を、3度にわたって、反逆にたきつけたのは、どのようにしてか？  
誰が、イギリスの領土を12倍にもした国王のために、勝利したばかりの将軍を拒絶した未開人とは？  
どんな地域的な環境が、彼の士気を高め、そして、勇気づけたのか？  
そして  
どうして、しくじったのか？



1760

Sir. Jeffery Amherst

Montrealの降伏を受け入れた

Robert Rogers少佐

Ottawaの領域へ

インディアン達の移動を制限  
土地を役人たちに分配しよう  
としていた。

五大湖の西のフランスの砦を陥落させるため

1762

イギリスはラム酒の販売しなかった。

インディアンは、火薬が無い以上、  
ラム酒なしでは狩猟ができなかった。  
フランスは寛大だった。

Delawareの一人の予言者。

この夏

デトロイト  
ピックバーグ  
Presqu' Isle  
ベナンゴ  
ナイアガラ

の大英帝国の  
砦を攻撃する

Seneca 族  
が怒った

戦争の赤いワムパムのベルト

Delaware  
Shawnee  
Ottawa  
Huron  
Chippewa  
Potawatomie  
(デトロイト)

に送る

インディアンが、昔のような生活をするようになれば、  
白人を追い出すことが出来る、と説く

これを、Pontiac は聞いていた。

1765

Pontiac

Robert Rogers少佐と会う

これ以前の1760年に

Ottawa  
Huron  
Potawatomie

イギリス人と  
会っていた

Pontiac は、  
誇りが高く  
執念深い、戦闘好きな  
直ぐに敵を攻撃する  
性格

Robert Navarte 評

4.27 に集合

Pontiac軍

460名

Ottawa  
Potawatomie  
Huronは二つに  
割れていた。

イギリスには、  
フランスを攻撃する  
ためと説明

イギリスの砦

Gladwin 将軍

再び来ると  
言って帰る。

Pontiacは、40~50名の戦士と  
ともに砦を訪問

10名の戦士をスパイとして  
潜ませる。  
砦の様子をさぐり、  
Huron, Delaware族に伝える

二日間準備  
に費やした  
60人がロー  
プの下に銃  
を隠して行く

今こそ彼らを  
攻撃しよう

イギリスは、我々を  
馬鹿してる。  
彼らを追い出せ !!

イギリスは、  
フランスがして来た  
ような事してくれ  
ない

会議

Gladwin 将軍は、この全てを知っていた。

ひとまず彼  
らを砦に入  
れて、  
武力で脅す。

Ottawa 族と砦に入ったPontiac  
が、Gladwinの戦略に気づき、  
砦の外にいるPotawatomie,  
Huron族に攻撃を指示

200名が川を下り

Fort Quatenonを陥落

Weas族  
Kichapoo族  
Mascouten族

St. Josephのイギリ  
スの前哨基地を攻撃  
Potawatomieに降伏

Fort Sandusky  
を攻撃

# Fort Midilimackinac の戦い

ラクロスของเกม

Choppewa族

Sawk族

これを見学ために  
George Etherington中尉と35人  
の部下が砦の外に・・・



ボールをワザと防護柵の中に入れ、砦の中に入る。  
その砦にはインディアンの妻たちが、平常どおり働いて居たが、  
武器と銃を隠して、持ち込んでいた。 インディアンの攻勢

Etherington中尉と部下が捕えられ、虐殺された。



Fort Edward  
Augustusの放棄



インディアンの  
大勝利



Detroit で、砦を離れていくPontiac と彼の仲間達  
*Frederic Remington*



Robert Rogers 少佐

勝利に、戦士たちは、これだけで満足せず

Huron族  
Delaware族

が

Monongahela川  
領域を一掃



West Newton  
Pennsylvania



Detrpot

Shawnee族

Seneca族

Delaware族

Iroquoi族

Fort Venago  
(Franklin, Pennsylvania)

Fort Ligonierに居た

Seneca族は、その後 Fort Presqu' Isle ( Erie, Pennsylvania)  
Iroquoi族は、その後、Fort Le Boeuf ( Waterford, Pennsylvania )

攻撃

Simeon Ecuyer中尉 (スイス人)  
250人の兵士  
16門のキャノン砲

Eceuyer中尉はこれを拒絶したが、  
二枚の毛布をプレゼント  
**天然痘の毛布**

インディアンは

Fort Pittに和平を打診



# Pontiac 軍が西部を支配

Detroitを包囲しているイン  
ディアン達の間で脱落者が出  
始めた。

捕虜の交換  
Potawatomieの酋長とイギ  
リス人捕虜たち

ニューヨーク知事  
Sir Jeffery Amherst

1763 Proclamation

白人とインディアン  
の国との国境をアパ  
ラチア山脈にしよう  
とした。

入植者達はこれを無視

既に水面下では、イギ  
リスの勝利の方向に動  
いていた。

救援隊の到着

Henry Bouquet少佐

Delaware族  
Shawnee族

と対決

インディアン

8.5

Fort Pitt

Delaware族

Sandoskyからの援軍

Shawnee族

Mingoe族

Huron族

丘の上の戦い

Bouquet

Scots 460人の兵士

2人の偽の負傷者

インディアンは負けた  
2000人が亡くなり  
数千人が飢餓状態  
2人の酋長が亡くなる

森に火を付け  
火の海となる。

Bouquetの策略でインディアンが挟み撃ちにあい、敗走。森に逃げ込む

Bouquetの被害  
50人の死亡  
60人の負傷者

インディアンはフランスの支援を期待していたが・・・

Fort Pitt は 救われた

Pontiac は、  
Huron帆船を攻撃

Chipewa族

Ottawa族

が離脱  
平和を求めた

(内紛)

Paxton Boys

ペンシルバニアの復讐軍団  
Lansaster での  
インディアン襲撃

現地の開拓者たちは、海岸地帯狩りの

生まれつきの不満を持った人  
法からの離脱者  
脱走兵、債務者、詐欺師

} 達

インディアンの土地に不法に入ってきて、  
残虐行為、

インディアンの仕返し

10.1

Wabbiomigot

MississaugaのTrontoの酋長 が来る

平和について交渉したかった

Gladwin

平和への動き

Pontiac の力の衰え

ニューヨーク知事

Amherst

Bouquet に、  
“ウイルスで汚染された毛布をイン  
ディアンに配る”ように指示

Pontiac の首に 100ポンドの賞金

Miami族 半分が帰ってしまった  
残りの半分は  
Huron 続に加わり  
様子見となった

Chippewa 族 }  
Ottawa 族 } 冬が近づき  
狩りをしなければ  
ならない。

↓

平和を望む

Pontiac

Major du Viller

の手紙

インディアンは、“フランスの子供達だ”  
フランスは、インディアン達を見限ったり  
はしない。

和平提案を打診

Gladwin

フランス人

フランスはイギリスと同盟した

戦争は自分が始めたのではない。  
平和の合意の権利を持っているのは  
Amherstだ。

フランスは、インディアンとの戦争を止め、  
ミシシッピーでスペインが強化された  
ことを繰り返さないように、  
インディアンを生かして置いた方が  
良い

インディアンを懲らしめるには  
銃や兵器より、ラム酒を売れば良い。  
和解させるなら、  
Sir William Johnsonを生かせればよい



1764.3

Delaware の Prophet

Pontiac

イリノイへの旅

インディアンがフランスの助けなしに自分達の土地を守ることは、そう簡単ではない。

De Vollirの伝令 Ensign Dequidre と共に

フランスはイギリスと同盟をした。どうすれば良いのか

イリノイの酋長  
イリノイ族はいつでも、  
イギリスの敵になる

Amherst の代わり

1764.7.1

新しいニューヨーク知事

Maumee に戻る

Thomas Gage 将軍

Huron 族 (Sandusky) 平和を求める  
Seneca 族 St. Willam Johnsonに降伏  
Ottawa 族 動揺  
五大湖の部族 毛皮の取引を再開  
Shawnee 族 } 戦争の終結を  
Delaware 族 }



1765.8

和平の合意

イギリスに敵愾心を持った  
インディアンを抑える事

だが、・・・

基本的な不合意が露わとなった。



インディアン

土地はフランス人が来る前から  
彼らのものであった、と主張



フランスは、借地人に過ぎず、

ラム酒、火薬を供給

フランスは、イギリスの国の家族ではない。

イギリスは、

赤人に  
贈り物をし、  
意味のない証文・  
協定のごまかしの  
約束をし、  
騙してきた。



Sir Jeffery Amherst の彫刻図  
Sir Joshua Reynoldsの絵から  
James Watson

Pontiac は、イギリスから賞賛されたが、インディアンの酋長達からのねたみの対象になる。

イギリスに忠誠的な支配をする

多大な費用

1768 失脚

逃亡

1769 ミシシッピーへ

Peoria 族が暗殺を計画

Pontiac

は、名を残した

自動車の名前

イギリスは、赤人を制圧したが、

それで、良かったか？

Cahokiaで暗殺された  
Makstachinga ( Black Dog )

William Pitt の演説

“神と自然が我々の手の内にある”

Minavava ( Chippwa の大酋長 ) が復讐

( 1777 Suffolk 男爵が独立軍とインディアンを非難 )

新しいアメリカ合衆国は、イギリスの政策の失敗から何も学んでいなかった。

# イギリスとインディアン戦争

“独立戦争の中”でのインディアン

入植者達とインディアンとの抗争

彼ら父親という立場が、フランスかイギリスに移った

入植者達は、このようにインディアンの土地を荒らしまわった

インディアンはフランスの同盟者であり、そして、イギリスの仲間

イギリスはインディアンの同盟者でありながら、かれらを馬鹿にしていた。

インディアンはイギリスについた。

もし、イギリスがインディアンのことをよく理解していたのなら、

**Washingtonの軍は完全に敗れていた。**

1777.11 Suffolk男爵

“神と自然は、我々の手の内にある”

Washington

何故、インディアンが戦争の中で素晴らしい働きをするのか、を知っていたが、・・・彼は、

インディアンの“野蛮的な習慣”をどのようにして取り除くかを知って居なければならなかった

インディアンを兵として雇うことにした。

1755 Philip Schuyler少将を派遣

Louis St. Luc de Gorne  
Campbell少佐 Gorneの息子  
Joseph Butler 兵士  
Joseph Brant Mohawkの酋長

彼らがインディアンを集めた。

Guy Johnson大佐の監視

インディアンに偏見を持っている  
インディアン統制局の後継者  
Six Nations と親しく、カナダ人の同盟国とも通じていた



インディアンを雇うために火薬とブランデーを使う

# 独立軍

“これは、我々と古いイギリスとの間の家庭内闘争だ”

## Albany 会議

インディアンには関係の無いことなので、どちらにもつかず、じっとしていてくれ。

700名の者が参加していた  
Oneidas  
Mohawks の一部  
だけで、6 Nationsのものは  
いなかった。



Mohawks 酋長の Little Abraham  
が“分った”と言ったが、  
彼らは、入植者達の言葉を信  
じていなかった。

カナダの Seven Nations の代表  
Caughnawagas が  
入植者達を “いささかも認めない”  
と約束

Onondagas  
Cayugas  
Senecas  
その他のMohawks } Brant や Johnson  
と  
別の構想



Joseph Brant, Six Nations の大酋長

*Romney*

1777に独立軍に降伏



## イギリス軍

“紳士の旅” という、

## Burgoyne のうろたえ

アメリカ人をおびえさせ、インディアンを追い詰めるために、獐猛な同盟者の数千人を自由にさせて、アメリカ人を恐怖に陥れようとした。

有る将軍が、

“入植者達は、大英帝国とアメリカの敵であり、国の破壊者だ。  
インディアンは、精一杯の勇気を持ってこれと戦え”

全くばかげた  
芝居だった。

アメリカ人達は、怯えるどころかますます燃えた。。

こうしたことに、本国は不快感を持っていた。

### Battle of Bennington

インディアン達は、白人達の戦いには参加する意思は全くなく、行軍の間に略奪と破壊、牛を殺して、離脱していった。

インディアン達は、元の部族のところへ逃亡して行った。



インディアンに指図している Burgoyne 将軍

# Burgoyneの別動隊

Hudson川の征服が目的

1777.8  
まで、  
できな  
かった  
が

## St. Guy Carleton

との会議

イギリスびいきのWilliam  
の息子

Burgoyneが  
Barry St. Leger に  
攻撃を命じる

Royal Greens の Tory党  
を加える

Butler も 同じような  
Tory Ranger を持っていた。

+3000人のインディアン

攻撃

大群で押し寄せ、ビックリ  
させようとしたが、アメリ  
カ人、入植者達は、一向に  
ひるまず・・・

1777.8 まで、できなかつたが  
それはここが、インディ  
アン達には重要な通商路になつ  
ていたため

彼らは、Schuylerと通じ  
ていたが、イギリス軍に  
参加していた。

Oswegoをとおり、Montrealへ

## John Johnson

と合流

Guy Johnson少佐

Butler

Walter Butlerの息子

Joseph Brant

## Washington

を釈放し

## Schuyler

に、4000人の兵士をつけ、  
この部隊の弱体化を命令。

## Benedict Arnold

が、守っていた。

## Fort Stanwix

750名

## Nicolas Herkimer

Tryon Countryの800人

援軍

イギリス軍のインディアン達は、森で待ち伏せ  
するために出発。  
突然のにか雨で銃がつかえず、  
戦いが長引くと、インディアンは、いつも、  
“Oonah!, Oonay!” ( やり直した!)  
となる。

# Hon Yost Schuyer

ドイツ人

迷信的な尊厳と、精神的なものを癒す力を持ち、インディアンに恐れられていた。彼は、イギリスのためにインディアンを雇う仕事をしていて、逮捕され、死刑の判決をされていた。

Arnold のために働くなら許す

来ていたコートを脱いで、これを銃で撃ち、もう一度このコートを着て、Stanwixを包囲しているOneida族のところに行き、“どうやって逃げれば良いのか”、退去を忠告

インディアンが  
退去

これで、Mohawk Valleyは、安全となり、アメリカ人は、Saratogaでの、Burgoyneとの会議に熱中できた



Benedict Arnold 少佐

ところが・・・

Tory 党は、負けてはいなかった！

Guy Johnson 少佐

Butler

Wyoming  
Massacre

独立戦争のずば抜けた恐怖となった

Fort Niagara に本拠地

Butler の Tory 党の党员  
Six Nations の部族  
Seneca

攻撃

Pennsylvania

Wyoming Valley

生き延びた人々は、

山の方、Picanos 族の方に逃げた

飢餓、貧困

The Shades of Death

Washington の逆襲

Six Nations をこのままにして置いてはいけない。

Iroquois 同盟

Moravians 族の土地だが、入植者達が入ってきて、Connecticut が支配

独立軍の資源供給基地

襲撃

Mohawk  
Valley

復讐

に燃えていた

German Flat の物語

# German Flat の物語

Seneca 族

冬が近づき、一端 Niagara  
に引き上げる途中

攻撃

Cherry Valley

Butler

Joseph Brant

+

Tory 党

200人

ここは、Laffayetteが建設  
第7マサチューセッツ部隊が防御  
(Ichabod Alden 少佐)

襲撃は、冬に一旦止んだが、1779年の春に再開

## Washington の逆襲

このままでは、Hudson Valley が危うい

Six Nations

“破壊ではなく、ほとんど荒らされていな  
い状態で、・・・” 欲しかった。

John Sullivan 少将

Susquehanna

New York

James Clinton

Olsage Lake

へ行軍

ここは

Johnson

が、Mohawk Valley を制覇  
していたが、ここを攻略

Sullivan と Clinton

Tioga 砦

Tory 党を撃破

白人達の野蛮な振る舞い

Senecas  
Cayugas  
Onondagas } の領地を焼き討ち

John Jay に報告

Six Nations の全てを破壊した

Washington

Daniel Brodhead 将軍

Pittsburgh

Allegheny

Fort Pitt

大成功

Mingos  
Munses  
Senecas

を追い払う

彼らのしたことは

Iroquois 族は、落胆をし、そして、インディアン達に復讐の思いだけをのこした。

Iroquois 族は、南北戦争に薄明を見た

Sir William Johnson

Brant

イギリスの国王に、

忠誠心を持っていた

市民性

と

野蛮性



Wikipedia

イギリス人の興味は、インディアンを持っているものだと信じていた。

ここに・・・

# もう一つの物語

もっと西では

当時の Kentucky とは

Vincennes  
Detroit  
Michilimackinac

## George Rogers Clark

23歳だったが、インディアンの戦争に熟練していた。

インディアンやイギリスの攻撃には、北西部を征服することによってのみ、救われる。

**Vincennes  
の奪取**

Illinoi を攻略

Shawnee 族 } の勢力を弱める  
Delaware 族 }

Moravian (Ohio) の大虐殺  
Pennsylvanians 族による。

もともと、Kentucky は

Cherokees 族  
Shawnees 族

の狩猟地

ここに入植者達が入ってきた

Ohio Valley の下流に居た白人達はテロに悩んでいた。

**恨み**

入植者達

これは、戦争だ !!!

残虐行為

1782.6

ワシントンの友人

William Crawford 少佐

Upper Sandukyから分断され、捕獲される

拷問されたが、裏切者の Simoncityに助命を嘆願。

1ヶ月後の、1100人のインディアンが Kentucky を攻撃

Wheeling に向かう

インディアンにとっては、損失の大きな勝利だった

Clark が大規模な反撃にでた

Shawnee の町を攻撃

インディアンは戦闘ができなくなる

五つの町を破壊し、インディアンの食料を断絶

Clark が北西部を支配するようになったが、現実的には、征服していなかった。

イギリスは以前として、Detroit、インディアンとの同盟を維持していた。

でも、平和だった。

イギリスは、北西部とカナダには、地位を残しておき、南部には、トラブルの元を残して言った。

入植者達は、荒れた土地に戻ることができ、再出発となった。入ってきた

西部に向かう大行進

領土拡張説の時代の始まり



Clark Wikipedia



# インディアンに対する新しい 国の闘争

独立戦争の終結のあと、どうなったのか？

Washington

が大統領になった。

Six Nations  
Miami 族  
Wabash 族

トラブルの当事者  
1500名が、殺され、囚人となる。  
2000頭の馬が盗まれる

1790.04

Doughty 事件

Doughty 少佐

+

Shawnee 族

が

Chichasaw 族

を訪問する途中

15 の部下とともに

4隻のカヌー

Cherokee 族

に遭遇。

彼らを歓迎し、プレゼントをし、  
交流したあとに、分れたその後、  
彼らは直ぐに引き返し、  
船を襲撃 ---->11人 死亡

Mississippi 川

…重要な輸送ルート

イギリスとスペインが水利権  
の争い……戦争勃発直前状態

ワシントンは、何とかしなくては !!!

Arther St. Clair 少将

の探検隊を結成

1500名の兵士を

Joseph Harmar

の指揮下に置いた。



Arther St. Clair 少将

ワシントン

インディアンに対し、

懲罰

と

有効

Creeks 族

との

“協定”

“インディアンには、別の領地での狩猟をする権利を与えるが、それ以外は、Georgia 州に所有権未決の土地を与える”

McGillivray と29人

“同じ子孫ではあっても、彼はまるで黒人とは違う”

Washington

の政策

友好的な部族とは、しっかりした絆を築く

反抗的な部族には、服従させるハンマーを

Miami Village に出先の支所を築くことを提案

Miami Village に2000名の兵士 + 砲兵隊 を準備

インディアンは観劇

イギリスには警告を与える

St. Clair

これで、彼は少将になり、軍の内部では、抜群の立場になった。

インディアンに対しては厳しく

が、そのやり方は、

進軍の途中で、砦を築き、その作業を市民軍のさせ、その手当の支払いをしない。

Jefferson

インディアンには、まず最初に  
“決定的な敗北” をさせる。

その後  
“自由と贈り物”

離脱者

Little Turtle

が対峙

Little Turtle

の襲撃

## Miamis 族の酋長

もともとは、イギリス軍に協力していた。インディアンは新しく入って来た入植者達に、敵愾心を持っていた。

Harmar を撃破

St. Clair を撃破

市民軍が退散

大混乱

退却

最大の敗北

ワシントンに報告

St. Clair は失脚

インディアンとの平和を  
求める動き

Anthony Wayne

の登場

“狂ったAnthony”

1779、Stony Point を占領する  
手柄が彼を英雄にしていた。

もともとは、George の人で、  
代議士をしていたが、選挙違反で失業中。

インディアンは42マイル程、追跡したが、その後、引き揚げた。

アメリカ軍は、580名か生き残った。



Standing Them Off

by Charles Schreyvogel

# Anthony Wayne

## 南部の部族の不穏な動き

Creeks 族…敵愾心  
Seminoles 族  
Chickasaws 族

Creeks 族や Cherokee 族との戦争になった時には、ここの助けが必要



## 北西部での

Sandusky の会議に平和のパイプを用意

代表团…Ohio Valley に開拓を設立することを要求  
インディアン…自分たちの要求だけ

物別れ

Wayne は、Fort Greenville を建設 3000名の兵士

ただならぬ冬

士官達 服務不履行  
兵士達 服務期間満了

Fort Recovery を攻撃して失敗

Wayne の部第はよく訓練されていた。

攻撃できず、攻撃をわざと遅らす

1794.6.29

が、Little Turtle 大失敗

春には、Wayne を孤立させる絶好のチャンスであったが、……

Turtle は、イギリスからの支援を求めたが、これに失敗

平和を求める事にした。



Anthony Wayne 将軍

# Fallen Timbers の戦い

Wayne と Turkey Foot との戦い、

Little Turtle の方針変更により多くの酋長が反発

指導力に陰りが見え、

Turkey Foot

が新しい指導者になる。



1795

Greenville

平和条約

Wayne のじら  
つかせ羨望  
3ヶ月 攻撃せず

インディアン達の焦り  
飢えと空腹

ここを  
攻撃

インディアン  
は、イギリス  
の砦 Maumee  
に逃げたが、

インディアンの  
敗北

インディアンの敗北  
Wayne は穀物宝庫を破壊  
5000エーカーを荒らす

門を開けず

Ohio 州の全て  
Indiana 州の一部

を割譲

Little Turtle もこれに  
署名した酋長の一人  
だった。

その後  
彼は、Harrison 大統領の  
ために平和推進のための仲  
介者となる

Little Turtle

1812年に  
Fort Wayne で  
亡くなる

インディアンの国に  
ウィスキーが持ち込ま  
れることに抵抗

アメリカ人の中では、評判  
のよいインディアンの英雄  
になった。

Greenville の協定  
Old Northwest での  
インディアンの抵抗の終焉

1885

Michigan  
Indiana  
Ohio

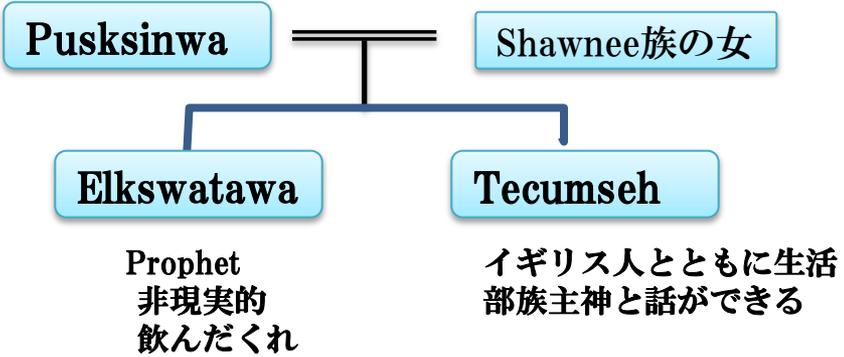
から5000人が集まり、Toledoの近くに記念  
碑を建てることにした。

場所は、Turkey Footの無くなった場所に  
建てるべきとした。

# TECUMSEH と

## 彼の戦争

1774 Fort Pleasant の戦いで死んだ



1808

部族は、Indiana の Delaware に住んでいたが、白人たちの圧力で、Tippecanoe に押し込まれた

Potawatomie族  
Kichapoos 族 の町 伝統を重んずる  
Prophet Town と呼ばれた

## 大連合

の構想

Joseph Brant の指揮権を継ぐ。彼は、Six Nations が、Ohio Valley と連合するように説得できなかったことが、敗北となった主要原因と考えていた。



白人に対抗するには

Mississippi Valley の南から北までが連邦をすること

## 説得の旅

Wisconsin  
Minnesota

しかし、この考えは、インディアンにはあまりにも壮大  
アメリカのナショナリズムには、抵抗できない

+

イギリスに対する誤解  
Ohio Valley をイギリスとアメリカの境界線にしようと考えていた。

Greenville の協約 全てのお族野同意なく、土地の譲渡は出来ない。

William Henry Harrison の反論

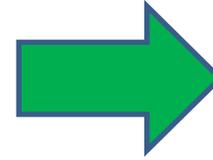
これは。間違いだ。 → 白人の圧力



叛乱の呼びかけ

Shawnee 族,  
Declarers 族, Wyandots 族,  
Ottawa 族, Kickapoos 族

“それは、私の決意だ。私は全ての赤人が一緒になるまで、その歩みを休めるようなことはしない。”



Harrison に対抗

1810

Shawnee 族が反対

Vincennes での対立

Harrison の Greenville の協定つぶし

両軍の対立

Wabash の 土地を購入

1810

インディアンの襲撃事件

Wabash Valley 戦闘



白人が攻撃

Tecumseh

が

Creek 族  
Choctaws 族  
Chickasaw 族

を同盟に入れようと南に行っている間に

Elkswatawa

の率いる

インディアンの敗北

1812

戻って来た時にはどうにもならず、カナダへ



囚人たちを助ける Tecumseh

# Fort Malden の戦い

インディアン

インディアン 1500人

イギリス

Henry Proctor

イギリス人 522人  
カナダ人 411人



アメリカ軍

Fort Meigs

Henry Clay 将軍

1100人



Tippecanoe の戦い

Thomas Van Horne の200人の待ち伏せ軍を Tecumsehの軍が破る。

途中でカナダに引き上げてしまった。

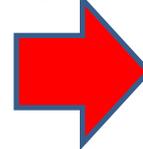
## Fort Stephenson の 攻撃

Proctor がカナダから戻り、Clay を畏にかけたが、失敗



400人の兵士  
その他 4~500名  
Tecumsehら 2000名

攻撃



Fort Stephenson  
George Croghan  
160名の守備隊

Croghan は驚いて、直ぐに降伏すると思っただが、砦に大砲を隠していた。----->大反撃

Proctor は Ohio Valleyを諦めた。

アメリカ軍

## Henry Clay 将軍

Tecumseh は、Fort Malden  
を抜け出す。

彼は、インディアンが  
Proctor を見限るのでは  
と見ていた

## イギリス軍

Harrison が、1000人の兵で  
攻撃してくると考えた

攻撃を受けるまえに、Fort  
Malden を焼いて、逃げる  
ほうが良いと思った



Tecumseh に告げるが、  
かれは、強硬に反対し、闘いを選択

撤退するには  
インディアンは足  
でまとい

しかし、この時にはインディアンの多く  
は、残って戦おうとしなかった。

Proctor は逃げ、Harrison が追跡

## Johnson 大佐

か追跡

半分は Proctor  
残りが Tecumseh を

イギリス兵は簡単に捕まっ  
たが、Tecumseh は、湿地  
に逃げ込み、

**徹底抗戦**

先頭に立って戦う  
その姿に感動

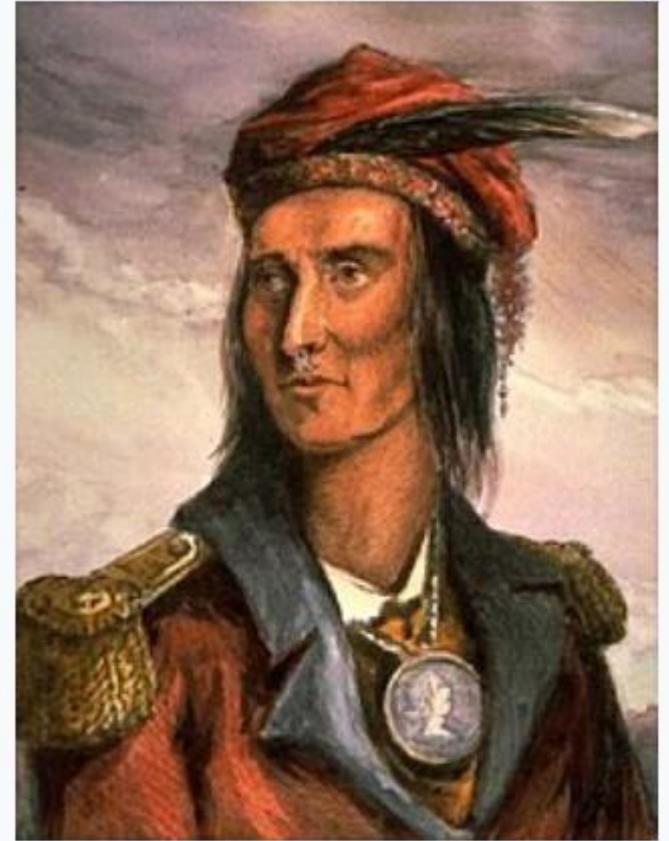
しかし、戦利品をあさる Kentuckians  
族に、死体をむしばまれる。



Thames の戦いと Tecumseh の死

## Tecumseh

Tecumseh was among the most celebrated Native American leaders in history and was known as a strong and eloquent orator who promoted tribal unity. He was also ambitious, willing to take risks, and make significant sacrifices to repel the settlers from Native American lands in the Old Northwest Territory. In 1808, with his brother Tenskwatawa (“The Prophet”), Tecumseh founded the Native American village the European Americans called Prophetstown, north of present-day Lafayette, Indiana. Prophetstown grew into a large, multi-tribal community and a central point in Tecumseh’s political and military alliance. (Wikipedia より)



Chief of Tecumseh's Confederacy

**Tecumseh は死んだが、アメリカは、彼を捕えるために  
5,000,000 \$ を掛け、20,000 人の兵士を使った。**

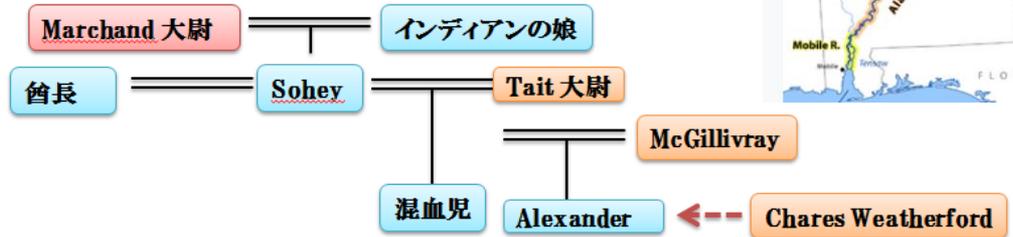
**Tecumseh は、新しいアメリカの歴史の中に、別の章を書いた。**

# クリーク戦争



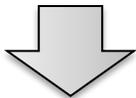
**Creeks族**

代理人 Benjamin Hawkins  
大佐の博愛主義  
正直

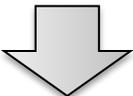


**TECUMSEH**

母親が Creeks



**クリーク戦争**



**Seminole 戦争**

Charles Weatherford がさとする

白人として、生きるか  
それとも、赤人となるか

**John or William**

**Lake から Gulf までの  
インディアン大連邦**

この話に感動した若い酋長・・・**William Weatherford**  
(Red Eagle)

**Alexander**

Charleston で育ち  
ウィグナムの文化  
フランスの都会風  
スペイン人の悪知恵  
Creeks族の野蛮性

の血が流  
れていた。

ヤンキーの血が流れていない  
ことが自慢の一つ

**William Weatherford とは**

どんな男だったのか



Alexander は、独立戦争では、  
スペインの市民奉仕隊  
Andrew Jackson の傘下で、イギリス軍の大佐  
Creeks族の主酋長としてSeminole族の守護神  
合衆国の海軍の准将軍

1811

Tecumseh

Prophet

が、やって来た。

Hickory Ground

Hawkins 大佐はTecumseh の話に乗らず、酋長達はTecumsehを理解できなかった。

数千名のインディアンが集合

Tecumseh ... 戦争を煽り立て  
Prophet ... 祈禱師達と通じていた。

“偉大なる魂” が先頭に立ち向かえと、キラキラ光る

闘うことを確信させるだろう・・・。

Prophet は、イギリス人からハレー彗星の来ることを教わっていた。

Creeks 族の酋長

Big Warrior

“あなた方は、純潔だ！ ワムパムと手斧を手にしたが、闘おうとしていない！ 私はカナダに行く。そこに着いたら大地に足跡を残す。そして、この村の家の全てを揺り動かす ”

これは、空虚な脅しであったが、・・・ Alabamaに地震が起こった。

これで沢山の躊躇していた男達が立ち上がった。

Hawkins

8弓矢、そして、棍棒に頼らざるを得ないような装備では

4000人も居ながら、これでは、どうにもならない。

でも



彗星  
大地震  
Tecumseh の弁舌

混血の Creek 人

Peter McQueen

350人

Pensacola  
を襲撃  
武器、弾薬の集積地

残虐行為

入植者達かのインディアンが帰還するところを襲撃した。が失敗

Weatherford が登場

McQueen は、もう一度 Pensacola に

これが余りにもひどく、合衆国政府が立ち上がる。

# Weatherford の事件

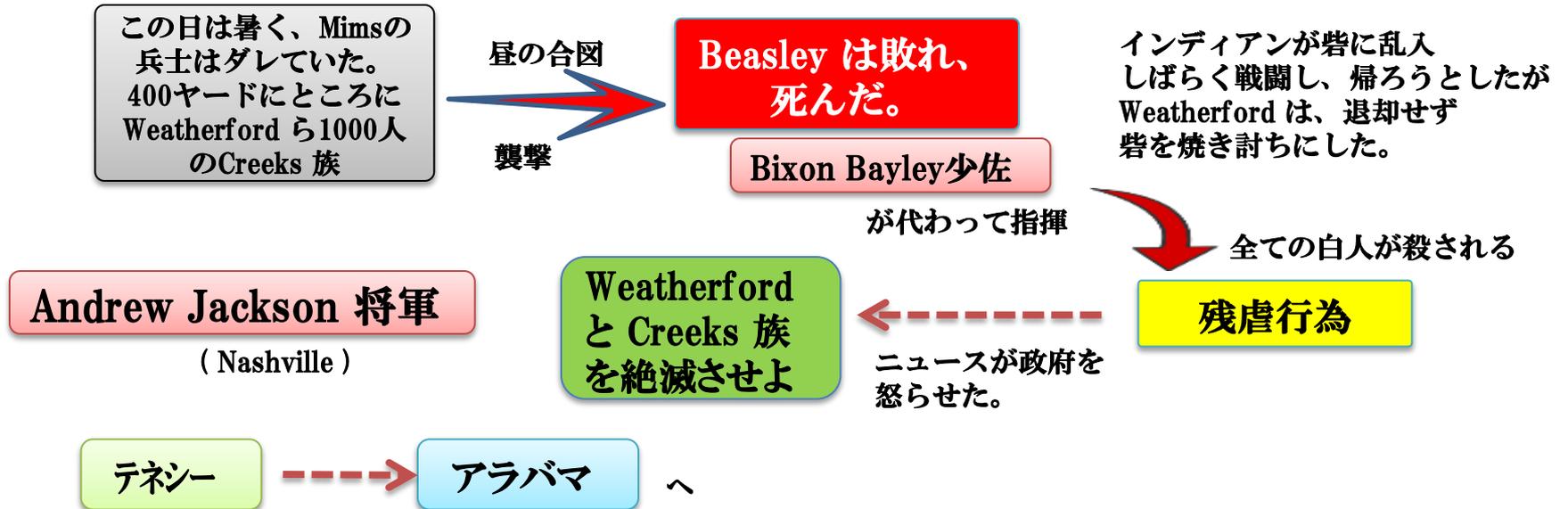
1813/8/29



Fort Mims での虐殺

Beasley に報告したが、彼は、“嘘だ”と言って Negroesをむち打ち、処刑

8/30



# Jackson の戦略



Andrew Jackson 将軍

Coffee 泰さ+ 500人の竜騎兵  
を Alabama に送る

Fayetteville

32 miles

補給基地

Fort Deposit

建設

Ten Islands

ここで、Creeks 族が  
Tallassahatchee に居る  
事をする。

11/3 襲撃を予定

Cherokee 族の酋長

Pathkiller

Weatherford が、強力をもとめ  
脅しをかけてきている

Jackson

“あなた方より、先に対抗することの方が先決だ。心配するな。”

Fort Strother

建設

インディアンを輪のなかに誘い込み、包  
囲して攻撃する。 大成功

Devy Crockett も参加していた。

四日後

Talladega が Creeks 族に包囲される。  
救助に行く

11/9

到着

1200名の歩兵  
800名の竜騎兵

輪を造り、罾を仕  
掛けたが、失敗

Creeks 族に逃げられる  
が、残った260人を殺害

12/10

Jackson 軍に重大局面

## Jackson の危機

市民軍の兵役が満期  
ホームシック  
食料が亡くなる  
Jackson が赤痢にかかる

飢えた時に、 Jackson は  
ポケットからドングリを  
取り出し  
“これを分かち合おう！”

逃げるなら、マスケット  
銃で射殺するぞ

これで兵は従ったが、  
祖の銃は撃てる状態では  
なかった。

### 市民軍との論争

### Weatherford は 軍の立て直し

Tallapoosa River の  
Horseshoe Bend

兵役が満期のものは、暫く留まることになったが、  
交代の者が到着する前に、Tennessee に戻る行進  
を始めた。

交代の者も、一緒  
帰ってしまった。

Blount は退却をする  
ように指示

### Jackson は退却を拒否

500人もの  
Creeks 即  
Choctaws 族  
Cherokees 族

野放しには  
できない。

“あなたの無気力から目  
を覚まさない !!!”

と、Blount に返事

気が代わり、800  
人の援軍を出す。

この援軍が来る前に Jackson は、  
80人の部下と出発

### Fort Strother

1/21

Emuckfaw  
Creek で  
キャンプ中に

Weatherford の Creeks  
軍と遭遇

### 夜明けの攻防

# 夜明けの攻防

アメリカ軍を引き延ばす作戦で、インディアンが不意撃ちを掛けたが、Jackson のアメリカ軍は待ち伏せをし、動かず・・・、

インディアンは Tohopeka に退いた

が、これは見せかけだった。

Jackson は攻撃に出た

そのご、Creeks 族は退き、Jackson も退却

Enotachopeo 川を渡る作戦

これが、勝利でないとするなら

輝かしい『退却』

Jackson の

Emuckfaw の戦い  
Emptacopeo の戦い

が、政府の勝利となった

これにより、Creeks 族に対する政策が大いに推進した。

1814年まで、明らかにされていなかったが

他のいかなるアメリカ軍でも、Jackson の業績以上のものを挙げてはいない

12月

この時に、Weatherford を捕えることが、戦争を終わらせることになったのだが、…………

Claibone 将軍

が Econochaca の街で、Weatherford を囲む

Weatherford は、馬を崖から川に、無傷で逃がした。

後の映画では

2/6

アメリカ軍の中でも、最も称賛された第39連隊 500名がテネシーから到着

Weatherford の Horseshoe Bend 砦を攻撃

インディアンは逃げるためのカヌーを用意しているが、これをあらかじめ、斥候がこのカヌーと取り除いていた。

Jackson は、2000名で

(900名の勇士と300名の女・子供)

# インディアンの伝説

闘いの中で、精霊が状況を見て、途中で姿を表し、その後、状況が一変するという祈祷師により、支えられている。

現実にこの時には、急に雲が出てきたが、孤の雲はほんの僅かのにわか雨を降らした程度だった

900名の兵士の内、557名が死んだ

手斧や棍棒ではアメリカ軍の銃にはかなわなかった。

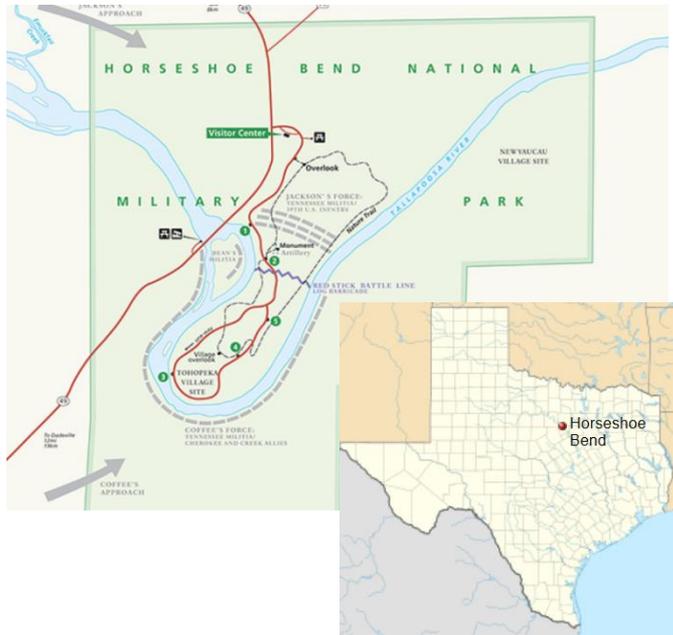
39連隊、

Sam Houston 少尉

女・子供が逃げた後攻撃したことになるが、本当は、大量虐殺

Jackson は、それは事故だったと説明

## Indian の敗北



Weatherford の死体かが見つからない

ひょっとしてフロリダに逃げたのかも知れない

Seminoles 族は、闘いで敗れた Creeks 族を歓迎して、勢力を拡大

イギリスからの情報

Jackson 将軍

引退

Hickory Ground

に居た

ここに

Bill Weatherford

と言う老人が  
やって来た

そして、2人は御互いの立場を理解し  
あい、Creeks族が平和を維持していく  
ことを約束試合、握手をした。



Jackson 将軍と Weatherford との会談

しかし、イギリスは長官にたいし、

私達は、最悪の事態に  
備えなくてははいけない。

と、手紙を送っていた。

**Seminole 戦争**

が、事実とは……



# 第一次Seminoles 戦争

Jackson

Florida に進軍

Florida が  
アメリカのもの  
となる

Osceola

Black Hawk

の事件  
までのいきさつ

Creeks 族の聖地

Horseshoe Bend の戦い

Weatherford が敗北  
の代償として

インディアンの土地を譲渡するが、  
その代わりに、Creeks の国を認める事

を提案

アメリカは、

23,000,000 エーカー

を要求

Alabama 州の半分と  
Georgia 州の 1/5

Big Warrior 酋長  
Shelokta 酋長

が協議に行くが、

協定を結ぶか否か

友人となるか、  
敵となるかだ と脅される

Tecumseh の筋道を絶  
たなくてはならない

2人は署名をしたが、不満を  
抱いて、Pensacola に戻る

スペイン軍のところに逃げ込む

2人の引渡しを要求

フロリダでは、  
イギリスとスペインが覇権争い

結局、この時には Creeks 族は  
Seminoles 族野ところにはいかなかった。

アメリカ

使者が

Wellington の軍隊

Jackson に報告

フロリダは、スペイン領であっ  
たが、Seminoles 族が居た

イギリスの軍隊、  
1000人 がQuebec  
に行く途中、滞在

1815

New Orleans の戦い

は、イギリス軍を破る

Florida の東半分を合併すると言う問題だけが残った。

1817

Seminoles を攻撃

Seminoles 族をスペイン領に追い込む。

Gains 名誉少佐

12/26

John C. Calhoun 戦争長官

インディアンとの戦争  
の中止を指示

Jackson は反対

Monroe に提案

1818.2

Jackson がフロリダへ

(Monroe)

了解

インディアンを征服している間に、  
フロリダを手に入れるよう

3/9

Fort Pitt

800名の正規兵  
900名のGeorge 市民軍

Fort Marks

自分が60日以内  
にやる。

Seminoles 軍

Peter McQueen  
Francis 酋長(Creeks)  
George Woodbine  
Alexander Arbuthnot

が、いた

インディアンに荒らされ  
ていたが、

Arbuthnot と、逃げようとし  
ていた Francis を捕まえた。

5/7

Pensacola を攻撃

St. Marks に戻り  
Arbuthnot。  
Ambrister  
を裁判のかける

警告していた

Billy Bowleg 酋長の村に侵入。

インディアンはおらず  
イギリス兵の Robert C. Ambrister、  
Peter B Cookを捕まえる

Florida がアメリカのものとなる

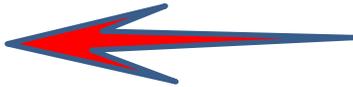
吊るし首になる

スペインに通告

黙ってはいない

America

スペイン



Monroe

賠償金の支払いと、元に戻せ

Florida の件は、Jackson の個人的な事件だ !!!

砦を返した



Fort Pitt

John Quincy Adams ( 国務長官 )

アメリカは、Florida の砦を諦めない

1819

Jackson を法廷に

Henry Clay が責任追及

Jackson の勝利

Arbuthnot } の 処刑については、  
Ambrister } その責を問わない

Jackson の進出を禁止する様な法案  
を通さなかった。

Jackson は民衆の  
英雄となった



Seminole の戦闘酋長 Billy Bowlegs

スペイン、イギリスに代わり、アメリカは Florida を支配するようになった が、

以前として、

Seminoles 族は、Florida に住む、借地人として見られた

Oseola

Black Hawk

戦争

In 1836, Osceola led a small group of warriors in the Seminole resistance during the Second Seminole War, when the United States tried to remove the tribe from their lands in Florida to Indian Territory west of the Mississippi River.



Osceola by George Catlin

Seminole leader



Florida での Johnson 将軍と兵たち

# Black Hawk 戦争

Ma-ka-tai-me-she-kiak-kiak

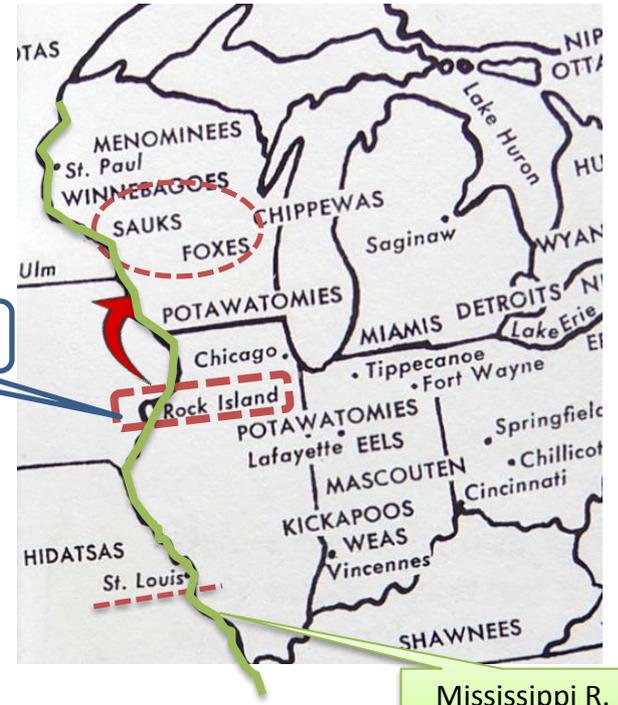
= Black Sparrow Hawk

Jackson 大統領が

=Black Hawk

アメリカ軍が Tecumseh を破り  
やって来た

と呼んだ



1767  
Rock Islandで生まれた

1804

インディアン代理人

William Henry Harrison

協定

街で酒を飲ませ

協定は全く守られず

恨み

Sauk 族

Foxs族

の土地 700エーカー  
を白人のものとする

“私なりの分別が私に、土地は売られたものではない、と教えた”

協定に反対するB.H.は、異議を唱える人達とともに、  
ミシシッピーを超えて、アイオアに行った

自伝で、こう書いた。

1812

Tecumseh 軍に加わる

Fort Meigs

Fort Stephenson

Frenchtown

の戦い

アメリカ軍に敗れ、-----➔ カナダ、北西部の旅に

夢

Red River から Mexico にかけて、  
インディアンの大連合をつくる

1830

Black Hawk



Keokuk 酋長

白人に融合

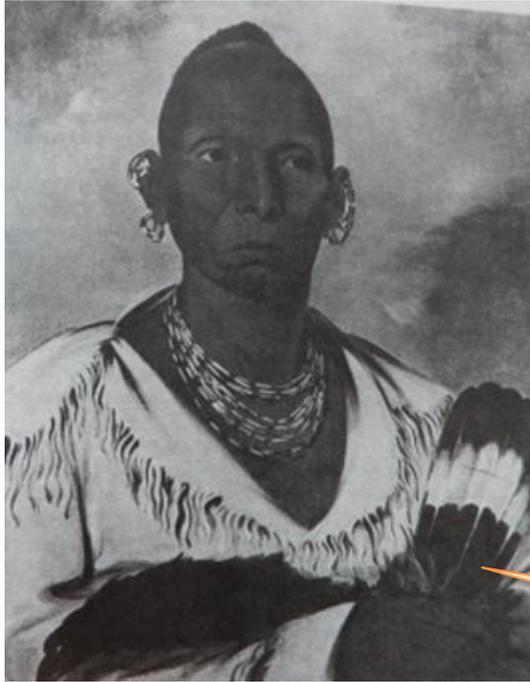
イギリスの一团

Sauks 族のものは、イリノイで白人  
達と毛皮の取引をし、上手くやって  
いた。

Ontario の Fort Malden  
間で行き、ここで取引

インディアンの土地を  
私物化し、先祖の墓を  
畑にしている

自分達の Red River が白人達に  
選挙されている



Black Hawk by G. Catlin

どうすれば、良いのか  
イギリス軍に相談

“行って闘うんだ、我々はお前さん  
たちを励まそう”



沢山の喧嘩  
小競り合い

1831 春 冬の狩りから戻って  
くると、白人達(不法占拠  
者達)がどっと増えていた。

Sauks 族の女、子供達に  
降りかかった

小屋を焼き払い、追い出そうとする

イリノイ州知事

John Reynolds

報告 (1831.6.20 )

Edmond P. Gaines 将軍

700人の兵士  
大砲を積んだスチームボート

インディアンの多くは敵愾心  
をもっていない。ほんの一部が敵対  
しているだけだが、彼らの女達が、  
闘うべきだとけしかけている

Black Hawk

と

Gaines 将軍

合意

入植者達は、インディアンにトウモロコシを供給する !!!

Sauks 族は畑からトウモロコシを盗み出す

厳しい冬となり、Black Hawk は、ますます大連合の必要性を感じる。

予言者

Waubeshik

との出会い

( White Cloud) Winnebago

Winnebagoes 族  
Potawatomies 族  
Mascoutens 族  
Kickapoos 族

の救援を約束

支持はしても、結局は援軍を出さず

Sauks 族と Foxes 族だけ

1832

500~600名の兵士

精霊

Man-ce-do

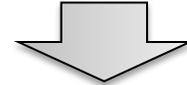
入植者達

の鼓舞

恐怖

市民軍

6.25 軍が到着すると、Black Hawk とインディアン達は川を越えて逃げた



守備隊の数が少ないと分ると



インディアン



Henry Atkinson

援軍待ち

インディアンは敵対行為はしないが、白人  
が戦いを挑むなら、闘うだけだ

インディアンは、トウモロコシを  
作る事だけを意図している

攻撃

Stillman 少佐

270名

Sauk Camp

休戦を申し込んだが、3  
人の使者が帰らず

戦争になる

Abraham Lincoln 中尉

の騎馬軍団がいた。

Zachary Taylor 少佐の軍

(1600名のなか)の 一部隊

戦争は、唯、無駄な死を遂げる無意味な殺し  
合いに過ぎなかった。

Indian

は、結局

退却

イリノイ、ウイスコンシンの湿地帯、林の中、そして、  
川をわたって行った。

ところが、アメリカは

インディアンの抵抗の根絶



酋長 KEOKUK

# 根絶作戦

## Winfield Scott 将軍

砲兵連隊 9 個連隊  
 五大湖 9 個大隊  
 Baton Rouge 2 個大隊

## Black Hawk

の同盟

コレラが大流行

闘いに挑んだが、・・・

ミシシッピー川の Bad Axe River  
河口に逃亡

女・子供達は、  
Wissconsin River を渡らせる

## 蒸気船

## “Warrior 号”

との戦い

Atkinson 軍と Warrior 号の間となり、畏にはめられた。  
Warrior 号に助けを求めて、川に入った、女・子供達を Atkinson の部下が一斉射撃

(Black Hawk は)

Cloud の戦士  
は頼りなく

Winnebagoes 族の部落  
Prairie du Chien に逃げた

降伏を決断

## Jefferson 大統領

Washington  
に召喚 !!!

英雄

になる

Baltimore  
に解放

“白人と友達になろう”

## “協定を結ぶ”

Winnebagoes 族 は、  
Wisconsin 南部  
Mississippi 東部  
Sauks 族  
Foxes 族

合衆国に

4,000,000 acres

6,000,000 acres

合衆国は、30年間、\$20,000  
40マイル四方の保護居留区 を与える

最後の屈辱

## Garland 将軍

政府は Keokuk が  
Sauks 族の酋長であるとみ  
なしていた。

1838 .10.3 亡くなる

Des Moines 川の畔に埋めら  
れたか、墓を暴かれ、顔をさ  
らされた。

Iowa Historical Society に保管

ここが消失し、大地に戻った

# 第二次セミノール戦争

## Jackson 大統領の執念

Creeks 族を Oklahoma に移住させた

Seminoles 族も

## Paine's Landing の協定

Wiley Thompson 将軍

の提案

Creeks

Cherokee

奴隷を持っていた

奴隷探索人

この奴隷達はフロリダに逃げ、Seminoles 族と一緒に暮らしていた。

彼らは、Negroes 族だけでなく、Seminoles 族も 奴隷扱い

Negroes 族の子孫は、Oklahoma には行かずに、奴隷として残れ!!!

Osceola

(白人達には、Powell と呼ばれていた)

彼は、先の Seminole War では、Jackson と対抗していたが、その後 Fort King で働いていた。

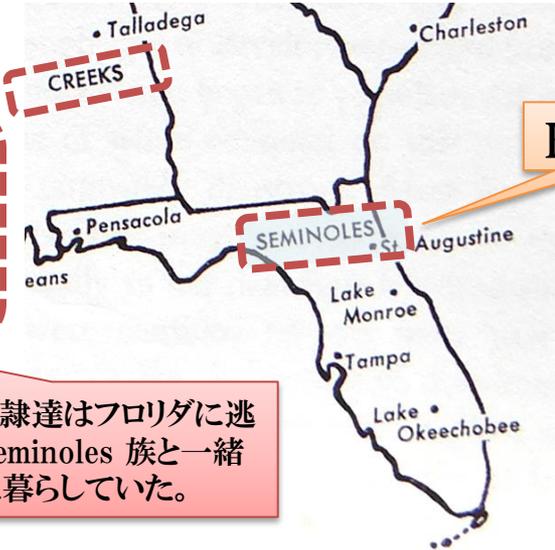
1835

主酋長たちとともに Thompson に対抗  
ここで、Oseola が強硬に反対し  
逮捕され、囚人となる

アメリカに同意するふりをして、解放される。

が、...

アメリカに反対する人達集めて、対抗運動と、反対組織をつくる



# Osceola の作戦

Creek War  
First Seminole War

## の教訓

武力は使わず、



小さな集団で、さしては逃げるという割り方で、白人を攻撃する。

1835

アメリカが正規軍を送ってきた。

Dade 少佐

+100人

Oseola を逮捕しようとしたが・・・

Osceola に急襲され、全滅

でも、Osceola は捕えられ、Thompson の家に忍び込む。

Thompson を殺害

Call 將軍

+700人

Oseola の追撃

Paine's協定の扇動者

Quithlacoochee River

の戦い

双方に多大の損害

Gaines 將軍

+3隻の蒸気船

が Tampa に

Alafia River

Fort King

Scott 將軍

友好的な一部のインディアンの女・子供を Oklahoma に

こうした軍は、何の成果もあげず、・・・



1837

Thoma Sidney Jesup 将軍

Jackson は  
何でもするように命ずる

Fort Mellon

( Lake Monroe)

3000人のインディアン  
Oseola も居た

インディアン達は、Oklahoma に  
行く事にした。

Jesup は、解任を申し入れた

キャンプに伝  
染病が流行

24隻の輸送船 Tampa の沖合に

議会

Shawnees 族 400人  
Delaware 族 200人  
Kickapoos 族 100人

船は置き去りにされた

を Seminole 族と戦うために、派遣

Jesup は自尊心をきずつけられた  
Seminole 族を負かすことはできない。

せめて、Oseola だけでもつかまえよう。

見え透いた  
策略

1837.10.21

Oseola に注文  
25人の部下とともに、白旗を掲げて  
会議に来て、投降してくれ

これに、失敗し、バレた。

でも

Oseola を逮捕

Fort Marion

( St. Augustine)

Oseola は、囚人としては、絶えられず

1838.1

Fort Moultrie

( Charleston)

死亡

Black Hawk の亡くなる、  
僅か8ヶ月前)



William J. Worth

を派遣

Seminole との戦いで功績をあげ、後に将軍となる

でも、抵抗は決して終わらせることはできない、と主張

1841

インディアンの村を急襲

家を焼き払い、5人の酋長をとらえ

抵抗するとこうなると言いふらし

Indianたちは、食糧危機

5人 他  
吊るし首

Seminole 族は村から出てきたが、

Worth は、降参するなら命は助けようとしたが、...

彼らのあまりにもみすぼらしい姿に驚愕

アメリカは、6年間も抵抗してきたナイフと手斧だけが頼りのおんぼろのSeminole 族の軍隊に対し

1500人の命と\$20,000,000の費用を費やしたのは、何のためだったのか?

(White or Red?)

1842

協定

Seminole は、仲間のいる西部へ

何人かは、まだ抵抗

彼らは、Everglades の住人となった

アメリカ市民とはならず

彼らの、第二次セミノール戦争は終わってはいない。

第二次世界大戦でも、徴兵には応じず

!!!

1837.12.9

Black Hawk を破滅  
に追い込んだ

Badary Taylor

Okeechobee Lake に来る

ここから25マイルのところ  
に Seminole の主体が居た



Seminole 族

過酷な戦い

Mccomb 将軍

Jesup は、キューバから  
33匹のblack hound (追跡犬)を購入



これで、インディア  
ンを追い詰めた



ところが、この犬たちは

非難ごうごう

W. R. Armisteat 将軍



Mississippi に移住し  
た、Seminole 族の14  
人の酋長を呼び、  
反対するSeminole 人  
たちの中に送る



説得したが、・・・失敗



大統領  
+  
軍事長官

上手い出来ないのは、  
派遣される将軍に能力が  
無いからだ

Negroes 族特有の匂いをかぎ分けるように訓練  
されていたが、Seminole 族とは仲良くなって、  
逆に白人達を追いかける犬になった。



Black hound によるインディアンの追撃

# 泣いて辿った道

Cherokee 族



**Great Buazzord**  
全てのコンドルの父親

“最初は、この大地は、平らで、そして、非常に柔らかくてじめじめしていた。”

( Cherokee 族の神話)

# Cherokee 族

イロクォイ族に次いで高度に文明化  
白人達と順応化

172年 に亡くなり、Cherokee 族  
の抵抗が終わった

移住させられて、国が滅んだ

Horseshoe Bend の戦いでは  
Andrew Jacksonを助け、Creeks 族を打ち破る

Dragging Canoe 酋長

の抗争

インディアンの同盟  
を造る・・・夢

Sequoya — George Gist

Cherokee 語の子音表

1828

Elias Boudinot

新聞を発行

Cherokee *Phoenix*

1826

Cherokees 族の法律

酋長

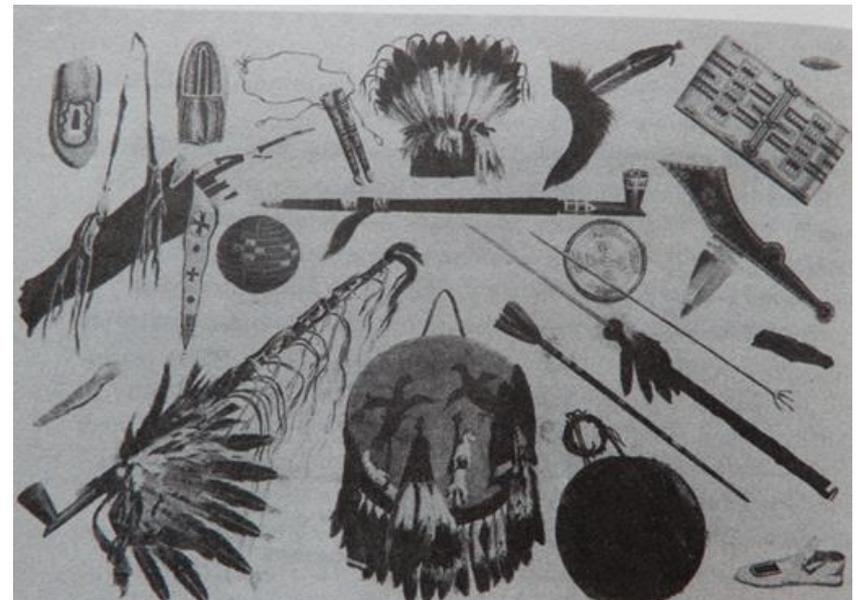
Ross

スコットランド人の父 混血の母

Major Ridge

完全なインディアン

新聞を読んでいた



インディアンの家庭用品と道具類

# アメリカによる土地の乗っ取り

アメリカとの土地に関する協定はしない

Indian

1802 土地を譲渡し、そこから移住する

1817 少しの土地を手に入れたが、...

委員会を派遣

American

秘密の協定

Georgia

1822 議会は、約束が守られていないと主張

Ross 達に、賄賂を使う

暴露

アメリカ

失敗

恨み

土地の乗っ取りを始めた

インディアン達は、アメリカの土地の借地人

George 知事

John Forsyth

インディアンの憲法は“生意気”だ!

George の法律がインディアンの土地にもおよぶ、とした。

牛	22,000
馬	7,000
機織り機	762
紡織機	2,488
幌馬車	172
製材所	10
鍛冶屋	62
学校	18
フェリー	18隻



インディアンの家庭用品と道具類

アメリカがほしかったものは

# Cherokee の国の 鉱物資源

“この国で私の欲しいもの  
それは、かわいいちっちゃな少女  
と、それに、大きな農場さ、  
Cherokee の向こうにあるんさ”

Cherokees 族の土地を分割し、それを分割する。  
しかし、インディアンには与えず、白人達だけが手に入れた。

こうした法律が働く前に、白人達は、

**暴行** **略奪**

**残虐行為**

を始めた

**インディアンを退去させる法律**

( Massachusetts )

**John Ross**

最高裁へ  
訴え

**Edward Everett**

等は、公然と  
Georgeを批判

**John Marshall**

Cherokees 族の国は、アメリカの法律は及ばない、とした。

**拒絶**

1822 合衆国のやり方は、  
違憲である。

George は Cherokee の国  
には入れない

1835

**John Ross の逮捕**

**Georgia州を支持**

**George Phoenix の発行停止**

# 新しい協定

これには、17,000名の Cherokee のなかの 500 人が署名

政府関係者は誰もおらず  
これは、



1836.3

Mississippiの東部  
Cherokee 族の全ての土地  
を \$5,000,000 で譲渡

その代り  
西部の土地  
7,000,000エーカー  
+  
\$500,000

をCherokeeに与える  
(2年間で移住をする)

Rossはこの協定  
に反対

これはペテンだ

Jackson

何も返事せず

R. G. Deunlop 将軍

何か別の形で反抗が起  
こることを警戒

移住が始まった。 2,000人は移住したが

15,000人は、Rossが協定を破棄するという戦  
いがうまくいくと信じて、移住しなかった。

Winfield Scott 将軍

700名の兵士)

強制移住

各地でインディア達を助ける運動  
が起き上がったが、これは、裏で動  
いていた扇動されたもの

Scott 将軍

幌馬車

インディアンを移住させるために収容する砦柵に収容する。

収容所

白人による

略奪

赤痢、熱病

酒浸り

6月に船に乗せ割れ、  
Tennessee River を下る



周長 Mandan の小屋の内部

夏の猛暑で、Scott は、延期を決めたが、.....

Jackson 達

が反対

10/1~11/4

13,000 人の  
Cherokee 人

13台の幌馬車で移住

病気と手洗い扱いにより、  
4000人以上が旅の途中で死亡

Nuna-da-ut-sun' y

( The Trail of Tear )

# 西部での南北戦争

## インディアンと白人との戦い

大平原のインディアン



防御隊



Rebel prisoners  
(メッキされたヤンキー)

1849

Gold Rush

東部でやっていたこと

いかにして、インディアンの土地を取り上げるか

Fort Laramie の  
会議



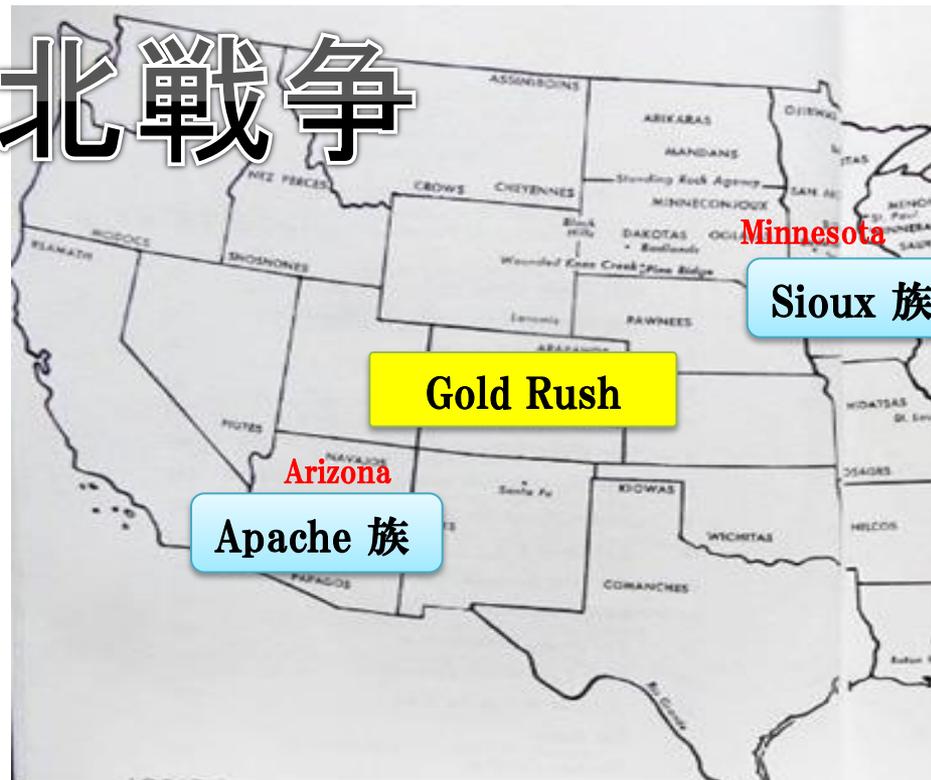
Cherokees, Arapahos, Crows,  
Assiniboins,  
Hidatsas, Mandans, Arikaras

彼ら自身の領土をあたえ  
られ、

Cheyennes 族  
Arapahos 族

を例にして、  
協定

50年間 毎年\$50,000 払う  
となっていたが、上院で、  
50年ではなく、10年になっ  
ていた。インディアンには  
知らせず・・・。



1859 Colorado

Gold Rush

Arapahos 族

住んでいた

Cochise 酋長

Mangas Colorado 酋長

1861 戦争

Cochis と 5人の酋長

Fort Buchanan  
と 第7騎兵隊

Cochis は捕えられそうになっ  
たが、逃げた。でも他の酋長達  
が捕まる。

政府が、認めた。

インディアンの抵抗は正当である。

白人の

横行と  
残虐

(白人を捕え)

捕虜交換

しようとしたが、  
吊るし首となった。

1863 Mangas Colorado が殺され、Cochise  
が主酋長となる。

1862

Carleton 将軍

が Rio Grandの入植地に

Apaches 族は、ゲリラ戦法

協定では、

白人は、インディアンの街を通  
ることは保障されていた。

街をつくり、農場を開く代わり  
に、欲しいものはなんでも  
手に入ると・・・



進行の女神

1864 Colorado は、飢餓状態にあった。

1863年に、South Platte の農場が全て  
やかれ、小麦粉が亡くなった。  
Denver では、一つ摘みが、\$45

南北戦争が終わり、強力な部隊  
が西部にやって来た。

白人達の無慈悲なやり方

インディアンの対応、

略奪、強盗

1861 戦争 The Great American West ( James D. Hiran ) “

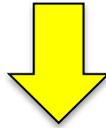
Downing 少佐

South Patte River の北の Cedar Bluff の  
Cheyenne の村を焼き払う

残虐行為の応酬

Hungeteの殺人事件

Sand Creek の悲劇



Evans 統治官が  
Washington に部隊の派遣  
を要求



幌馬車隊の襲撃



1861

Fort Weld

二人の役者が到着

John Milton Chivington 少佐

Confederate (同盟軍) を破り  
金の産地が南軍の手に入るのを  
阻んだ

1862 Santa Fe の  
“ The Gettysburg of Southwest “の戦いで  
名をなす。

Colorado  
Arizona  
California  
Nevada

北軍の勝利

Cheyennes  
Arapahos  
Sioux } を追い詰める役に回る。



Black Kettle

インディアンの英雄  
平和主義者

Downing 少佐のやり方に  
手を焼いていた。

Fort Lyon

捕虜たちの交換交渉

Denver の Evans 知事のと  
ころに行くように

Wyncoop 少佐

Black Kettle

Cheyenne

White Antelope  
Bull Biar

Hungate の犯人捜し

Evans は、  
Chivington 大佐  
との合意を示唆

インディアンは、自分で  
はない、

Arapaho 族さ  
Kiowas 族さ  
Comanches 族さ

“Raven の息子さ !!”

その日に、Kansas の  
領域司令官

S. R. Curtis

“インディアンと平和の話をする前  
に、彼らを懲らしめろ”

の電報



A delegation of Cheyenne.

Scott Anthony 少佐  
(良心的な司令官)

と交代し

Wyncoop

ほっとする。

彼らに  
食料を支給していた。

Arapahos 族

Little Raven 酋長と  
652人が砦の近くでキャン  
プしていた。

Cheyenes 族

をここに加え、

武装解除させよう

“Hungate の犯人を出せ”  
と迫る

Black Kettle が、  
600人とともに

砦に来たが、  
中に入るのを  
認めず

Sand Creek

に行き、  
ここでキャンプ

Chivington

Anthony

第一コロラド騎兵隊  
750名 + 曲射法

11/28

Fort Lyon

から東を  
行軍

道に迷い

Sand Creek に  
辿りつく

インディアン  
が大混乱

この大群をインディアン  
の女が、バッファローだと勘違い

Black Kettle は  
冷静を呼びか  
けたが、...

連隊の一斉射  
撃が始まった。

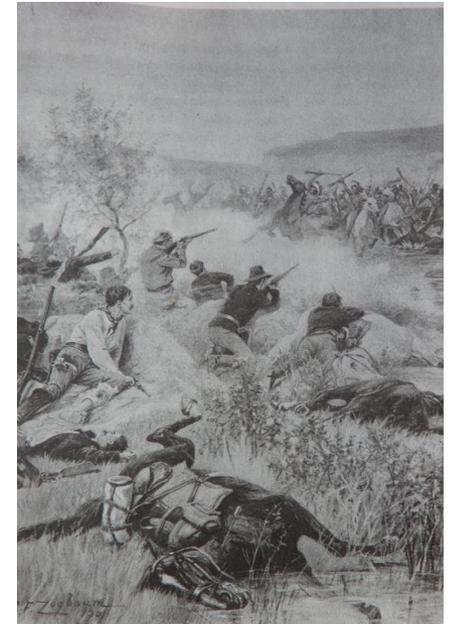
大地と山々以外に  
は、生きる者は何  
もなかった。

東部では、お  
んな、子供ま  
で殺すことは  
なかった  
が、.....

Curtis 将軍

が来る。

(George Bent の証言)



インディアとの出会い

Minnesota

Minnesota の悪夢

白人300人が殺される



Bull Run Second Battle  
Kentucky Braggs の侵略  
Antietam

の悲劇と並ぶ  
もの

Little Crow

Chetau-wakan- mani ( 歩ける様になっ  
た、pigeon-hawk )

一時は、インディアンよりも白人に評  
判が良かった。  
敵に身を売ったと思われた。

Medewkanton Sioux のKapoja 族の  
第5酋長

扇動者

Red Middle Voice

兵士の小屋

1862 Sioux 族野中では、農民と狩人との対立  
両方が白人に対する不満で合同  
白人がインディアンに支払う金がない。

砦に行き、交渉

インディアンは支払う金がない。

取引商

支払いが無ければ  
取引しない

仲買人  
“もし、彼らが飢えているなら、  
彼らに、草をべさそう”

Red Meddle Voice  
の4人の兵士が、 白人5人を殺す



Chief Little Crow

Redwood

Jim Lind の妻が殺される

Lower Agency

保護居留区の中の店が襲撃される。

Fort Ridgely から、救助に向かった

March 大尉と彼の部下  
100人以上が殺された



Henry Hastings Sibley

Upper Agency

( Yellow Medicine )

Henry Hastings Sibley 将軍

救援隊

が来た

“Lake Shetek” の入植者達



“Slaughter Slough”  
で虐殺される

Little Turtle

が砦を襲撃

March 大尉

を送り出す。

Sibley は、Fort Ridgely に戻る。

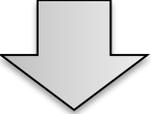


135名の兵士、20台の幌馬車  
待ち伏せにあい



援軍を送る

砦から、13マイルのところ、  
Little Crow の軍隊と遭遇



Little Crow を追い払う

Sibley の軍が強化される。

1600名が、Yellow Medicine に

Wool Lake の戦い

# Wool Lake の戦い

インディアンに襲撃される前に、  
曲射法で攻撃し、

インディアンは、逃げた。

敗れた

ここで、インディアンは負けた

この戦争が、  
インディアンは戦争に負けたこと  
になった。

## Little Crow

は、Minnesota から、  
カナダの Devil's Lake に退却

## Red Iron

が酋長となる

Camp Release にインディア  
ンをつめ、400人を牢に。

その中に、Little Crow を探  
したが、逃げられた。

## Silbey

自分で裁判をし、

306人に死刑の  
判決、

死刑

38人 吊るし首

囚人は、番号で扱われ、  
誰かを認定できなかった。

## Lincon 大統領

に  
執行の許可を申請

Sioux 族の反逆は  
終わった。

1864.7

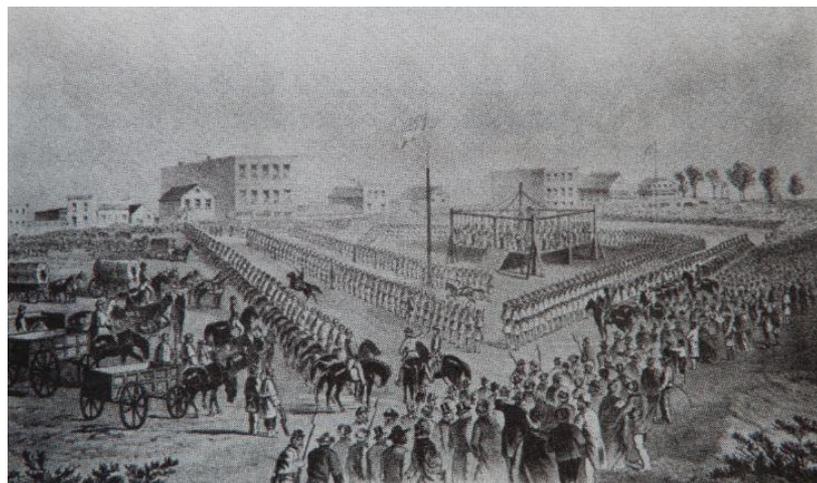
逃げていたLittle Crow  
が Hutchinson で殺  
される

Badlands

(銃撃で清められた地獄)

Sand Creek で生き残った  
Cheyenne と一緒になり、

最後の戦い

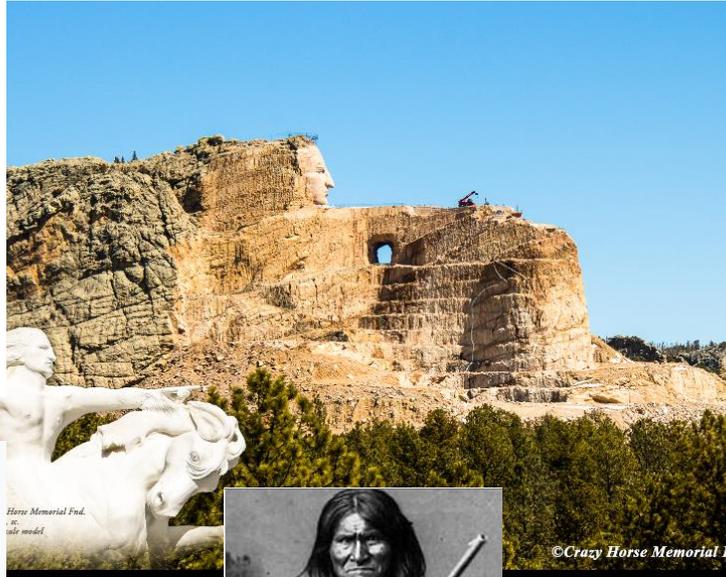


38人の Sioux 族の処刑

# 直前の反抗



Kintpuash  
"Captain Jack"

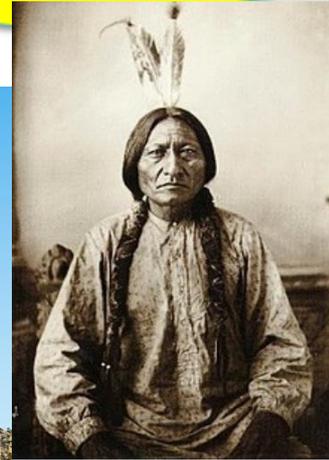


Crazy Horse Memorial Fnd.  
© Crazy Horse Memorial Fnd.

© Crazy Horse Memorial Fnd.



1886年の降伏後の記念撮



タンカ・イヨタケ(シッティング・ブル)



レッド・クラウド(1880年)

19世紀の後半

1865

平和会議

Washita River

一時は平和となったが、.....

南北戦争が終わった

いざ、西部へ



Gold Rush

Siou 族

Apaches 族

南北戦争の終結

西部の生き残ったインディアン達は、守るための戦争

外人部隊 無法者部隊 第十騎兵隊

# インディアン同盟

( Creeks 族の勇士)

Tuk-a-Ba-Tehe-Mico

Osages 族

Comanches 族

Kickapoos 族

Pawnees 族

Potawatomies 族

Unkpapas 族

Iowas 族

Cheyennes 族

Teton Sioux 族

Navajos 族

Arapahoe 族

Apaches 族

Wichita 族

Kiowas 族



1866

Fort Lalamie

平和会議

Sioux 族  
Cheyennes 族

の土地を白人が通る権利  
Bozeman Trail を守るための3つの砦

Red Cloud

対立

Henry B. Carrington

Man Afraid of His Horse

他の酋長達は署名  
したが、逃走

Spotted Tail  
Standing Elk  
Swift Bear  
Brulé Sioux

Oglala の酋長  
Sioux族の指導者  
Cheyenne とは敵対

Cloud の包囲攻撃

Carrington の部隊  
と  
Bozeman Trail

孤立

Red Cloud

の攻撃

Carringtonが居た

James W. Powell大尉

Fort Laramie からFort C. F. Smith  
まで救援物資を運ぶ

Red Cloudの勝利

George Alexander 少佐

3度のRed Cloud の攻撃に耐え  
1137人を殺す

Boseman Trail は閉鎖  
Fort Kearney  
Fort C. F. Smith 放棄

(Sandy Forsyth と28人の男達) で防御

Colorado の東部で、Sioux と対立  
彼の飢餓状態となった部下達は、救  
援物資がくるまで、死んだ馬の肉を  
食べて、絶えていた。

政府の新しいやり方

しかし、ここに白人が入っ  
ていくのを防ぐ手立ては何  
もなかった。

こうしてインディアンを閉  
じ込めようとしたが、

もともと、インディアンのものであつ  
た土地を、彼らに賞与と言う形で、保  
護居留地という形で与えること

封じ込め政策

1869

Grant 大統領

を説得

Sharidan 将軍

インディアンを合衆国の市民として認めること

1868

Cheyenne 等、全ての敵愾心のある  
インディアンの部族の焦土作戦

インディアンと協定を結ぶ必要はない

George Armstrong Custer

Fort Hays

に呼ぶ

“Boy General”

第七騎兵隊の指揮官

衝動的、徹底的な男

# George Armstrong Custer



“Garry Owen”の歌を歌いながら、殺戮を繰り返した。



*We' ll best the bailiffs out of fun,  
We' ll make the mayor and sheriffs run;  
We are the boys no man dares dun,  
If he regards his whole skin.*

## Black Kettle

Kiowas  
Arapahos  
Apaches

と、平和に暮らしていた

Custerは、Sheridanの命令に従っただけだが、彼が何をしたかは、誰も語ろうとしない。

Black Kettleは亡くなり、Santana 酋長 Little Rock が生き残る

## 再度、インディアンを攻撃

全てのティビー 武器、食料、衣裳 を焼き払う

1871

市民兵のアメリカ人 メキシコ人 Papago のインディアン } の大部隊が Tucson を出発

## インディアンの抵抗

- ①、Sioux の連合体 Big Horn
- ②、Apache の集団 “チリガツア” 恐怖のアリゾナ、情け容赦のないApache

## Fort Lowell

が仲裁に入ったが、間に合わず

殺戮・強姦・射殺・手足の切断

逃げることもできない負傷者の頭を、棍棒、石で殴る。裸の死体を放置



1871

## George Crook 将軍

Arizona 部局の指揮官に 平和主義者、宣伝活動



しかし

## Vincent Colyer 代表

## インディアンを襲撃

“インディアンを愛する男”として認められた

Arizona に平和が来た

California では

# Modoc 族

インディアン同士のにらみ合い

Battle of Lost Riverの戦いから軍では、“The Stronghold”として知られていた。彼の敵は、Crook 将軍のようなインディアンの真の友人

Schonchin 酋長



Captain Jack



Curley Headed Doctor

Schonchin

保護居留区の構築に関する署名

審美主義的な要素

Modoc 族



Klamath 族

土地の権利

インディアンの荒くれ・悪党ども

E. R. S. Canby 将軍

Crook と同じような政策をとっていた

The Department of Columbia の指揮官 Modoc 族と

平和会議

会議は、土地のどの部分が Modoc 族に与えられるかと言るところで行き詰まる

隠れていたインディアンが銃をもって岩陰から出てきて大混乱

## 20世紀の組織犯罪

- Captain Jack
- Curley Headed Doctor
- Bogus Charley
- Shacknasty Jim
- Scarfacd Charley
- Steamboat Frank Boston
- Carley Ellen's Man George
- One Eyed Waterman
- Hooker Jim
- Old Tail
- The Wild Gal's Man
- Old Chuckle Head
- One Eyed Mose

“これは何の真似だッ、Captain Jack ?”

Canby の使いの者がほとんど殺された

闘争

Jefferson C. Davis 大佐

1000人以上の部隊

Modoc は退却

仲間割れ

Jack も投降

“私の両足はくたびれてしまった。”

6人のModocの酋長が逮捕された

合衆国政府は、“Modoc War”には、0.5百万ドルが掛かり、多数の兵士が亡くなった。

# 大平原

## Dakota 族との戦い

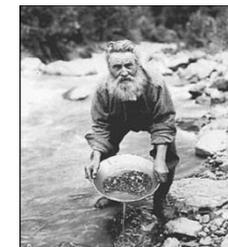
Gold

が発見された。

2人のCuster

George Custer

1873年  
最初の調査隊



Tom Custer

1874年 の調査隊

Rain-in-the-Face

を拿捕



Sioux 族 の聖地

協定ができるまで、軍がラッシュの起こらないようにしたが、制約ができず、1年の内に Deadwood は、大盛況となる。

Crook 将軍



インディアン

Cheyenne 族、Sioux 族が耐えられないような状態

Crazy Horse (25)

Tashunca-uitco  
Oglala 部族の Sioux 人

Sitting Bull (45)

戦闘の指導者  
祈禱師であり、政治家

Wyoming で、Red Cloud と共に闘った。  
非常に厳しい、激しい男  
妻は、Cheyenne 族

Wyoming で、Red Cloud と共に闘った。  
非常に厳しい、激しい男  
妻は、Cheyenne 族

Sioux 族  
Cheyenne 族  
Arapaho 族

に強い影響力を持っていた。



# Little Big Horn の谷

Rose bud River でのキャンプに  
2500 ~ 4000 名のインディアンが集まる。

宣言 (インディアン の 監督官)

1.31 までに、全ての歩き回っているインディアンは保護居留区に戻らなければならない。

が、この冬はとりわけ厳しい冬で、狩りに出ている者達は戻ることが手是気なかった。



ゴールドラッシュで沢山の白人達



聖地 Black Hills が汚されている。

不穏な動き

**Crook 将軍**

に冬の Sioux 族の部落を攻撃させた。

騎兵隊 二個大隊  
歩兵中隊 二個中隊

2人のインディアンは、これを見て、逃亡

これを追跡

**J. J. Reynolds**

450 名の歩兵

たまたま、Crazy Horse の本拠地を発見

インディアン達は逃げ、その村、食糧を全て焼き払う



Reynolds は、何とか、Crook の所まで逃げた

Crazy Horse の部下が、Crook の部隊の中の牛を逃がす。

食料不足

**Crook 将軍**

**Fort Fetterman** に

**退却**

**Terry 将軍**

再攻撃を計画

Crook は、Rosewood の谷に入り、北に進軍  
John Gibbon 大佐は、Montana 山脈から、東に移動し  
Alfred H. Terry 将軍と合流する

Fort Lincoln から、Missouri River まで、行進する予定

Sioux 族の分断し、孤立させる作戦

5月に、様々な探索隊を出す

**Crook 将軍**

Boseman Trail を行進

騎兵隊 15連帯  
歩兵 5中隊

6.17

**Fort Kearney**

**Tongue River**

Crazy Horse が、この川を渡るなど警告

**Crook 将軍**

1300 名



**Crazy Horse**

1200名 Oglala 族  
Cheyenne 族

**一進一退**



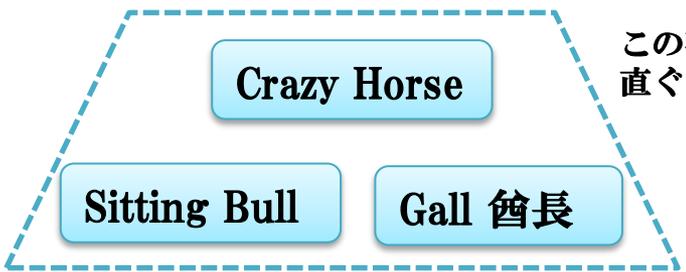
**Crook は、二度目の敗北**

軍の補強を待つ

**Terry 将軍が到着**

Gibbon 大佐とともに

これで、インディアン達は、逃げてしまうのでは、と心配



**Crazy Horse**

**Sitting Bull**

**Gall 酋長**

この事をCrazy Horse は、知らなかったが、直ぐに彼は、Sitting Bull と合流

斥候が、Custer の第7騎兵隊が Rosewood まで来ていると報告

これで勝てると思った

**Custer とTerry の戦陣争い**

生意気な馬鹿者

Custer は遠くまで追い過ぎていた。

**Custer 大尉**

**軍を3つに分け**

Custer は、谷に進軍  
Frederick Benteen 大尉は、南に行き、インディアンの部落を探索・・・失敗  
Reno 少佐 村の攻撃・・・Gall の攻撃を受けて退却

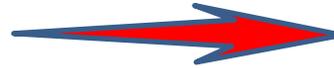
**Crazy Horse と Gall 酋長の軍が Custer を包囲**



Custer の最後

インディアンは勝ったが、しかし、戦争そのものを失った

Washington が、もっと多くの連隊を送り込んだ



闘いには勝ったが、各部族は、散り散りになっていった・

しかし、Sitting Bull, Crazy Horse が、何故、これ以上の攻撃をしなかったのか、？

これが、インディアンの気質なのか！！

不思議でならない

そして、各部族は、個別に次々と投降

Nelson A. Miles 大佐

Dakota の Minneconjoux, San Arcs が投降

2000人のインディアンが投降

Cheyenne が Miles 大佐に投降

投降

1877.10.26

Shreidan 将軍 の報告

Crazy Horse

889名と、2000匹の馬を連れて、Crook 将軍に投降

自殺しようとしたが、兵士に銃剣でさされ、これをたまたま事故であったと言った。

( Little Big Man )

Sitting Bull

1881.7

187名と Fort Buford で投降

いろいろ言われているが、結局は、唯の“ならず者”

# Nez Perés の戦い

Hinmatóowyahtqít  
Chief Joseph  
Hinmatóowyahtqít



Chief Joseph in 1877

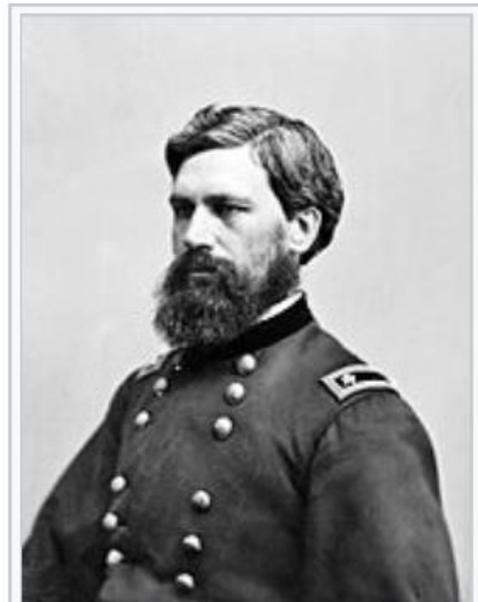
“大地を覆い尽くす水の出てる雷”

1873 酋長になる

1877 酋長は、400人の兵士とともに  
2度にわたり白人部隊を撃破したが、  
アメリカ軍には勝てないとCanadaに退去  
200人の兵士のその家族 3倍



Nez Perés の保護居留区



Gen. Oliver Otis Howard  
in a Civil War-era

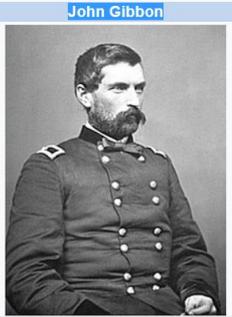
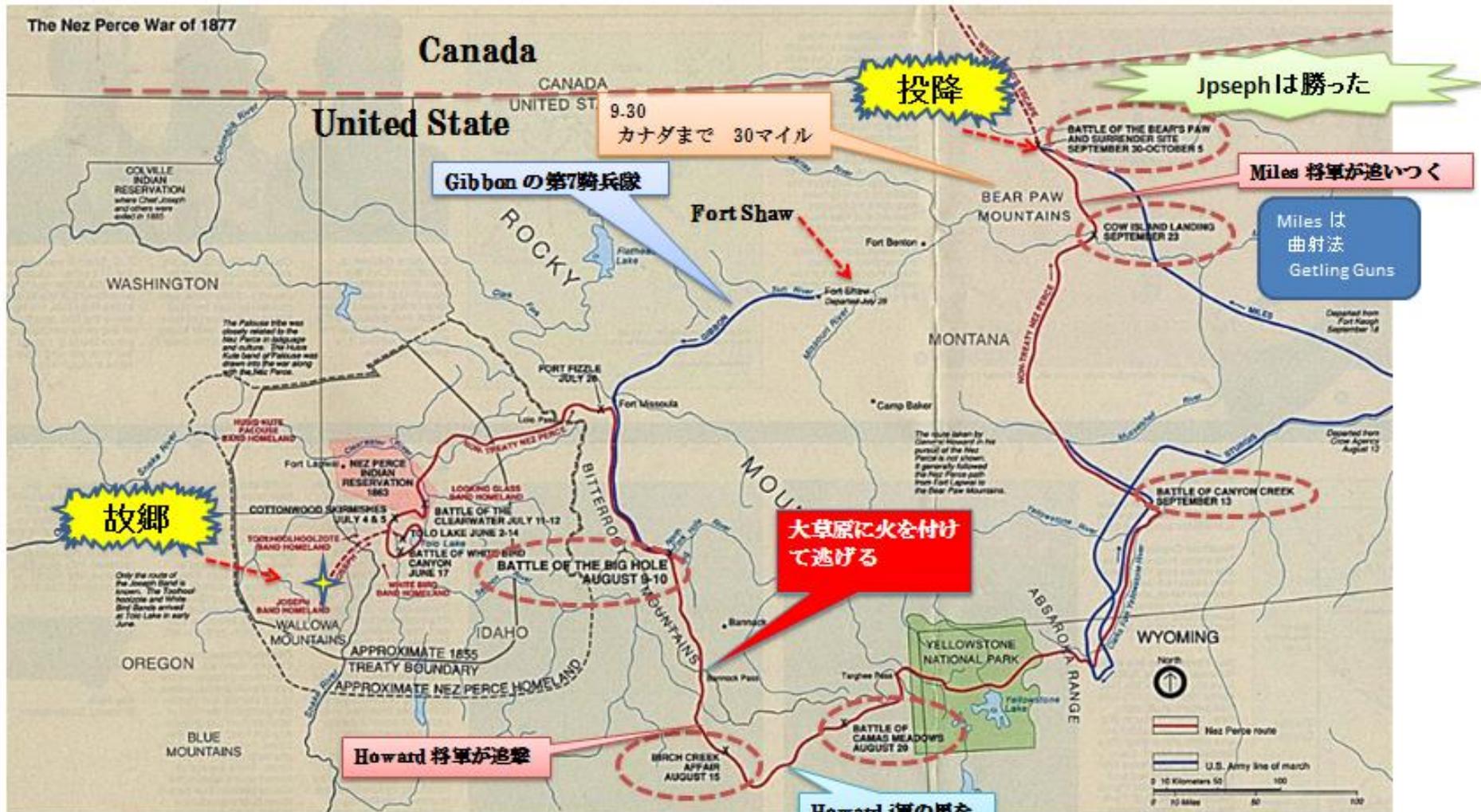
白人の不法占拠が横行



Bear Paw Battlefield



Chiefs Joseph, Looking Glass and White Bird in the



John Gibbon

Gibbon の第7騎兵隊は、  
Nez Perés の行先を妨  
げる任務



Howard 軍の馬を  
捕まえた

何時も、女・子供を先に荷がし、そして、闘ってきた。

## Joseph

1. 女・子供を見捨てれば、彼と兵士達はカナダに逃げる事ができた。
2. 勝利が確かの際に降伏する。
3. 闘う。自分を安全にすることはできた。



Miles は、  
曲射法と  
Gatling Guns  
を持ち、完全に有利だった

Joseph は、これに勝った、  
が、・・・

3日後に、  
投降



Nelson A. Miles



Miles

Howard

が、Joseph の功績を認めている。

2000マイル以上の道を乗り越えてきた。

5度の戦闘の中で、3度勝利し、  
1つは、手詰まりを解決し、  
最後の1つで、上手くやる事が出来なかった。

Joseph は、Roosevelt 大統領と会うこともできた。  
が、しかし  
彼の故郷の谷に変えることはできなかった。

# Geronimo の戦い

Quannah Parker



## Parker

Kwaha di Comanches 族の酋長。

700名 Comanches  
Kiowas  
Cheyennes



## Battle of Adobe Walls

を襲撃

30人の狩人



Parker の構想

## “Plains Indians”

でも、その限界を知り、市民権をもつ住人となり、大成功した。

白人達は  
長身のライフル銃を持っていた

## Geronimo

## 南西部のテロリスト

メキシコ人は  
Geronimo or Jerome  
と呼んだ

## Cochise Mangas Colorado

と供に闘う



“口を広く開いた人”

1876 Ciricahuas 族が、保護居留区に移動する時に、僅かの抵抗し、その後、おとなしくしていた。

1880 戦闘に戻るが、捕まる。 ---> 逃亡。

1882 再び、逃走。

Crazy Horse と戦った

Crook 将軍

Geronimo

Apache

強大な強さ、  
活力  
力強さ  
犖猛  
巧妙

大平原から呼び戻し、再び  
Arizona Territory へ

Tucsonの心の曲がった契約者  
が代理人を手を組み、問題を  
起こしている。

これを直そうとした。

が、既にApacheは  
戦闘への道に進んでいた。

1883 Geronimo を捕えたが、…… ---> 二年後に逃げられた。

反抗

1886.5 Geronimo メキシコで捕まる。 ---> 二日後に逃亡。

Miles 将軍

Crook 将軍に代わり、Geronimo を追跡

9月 メキシコ

Bavispe River

Oklahoma

Fort Pickens

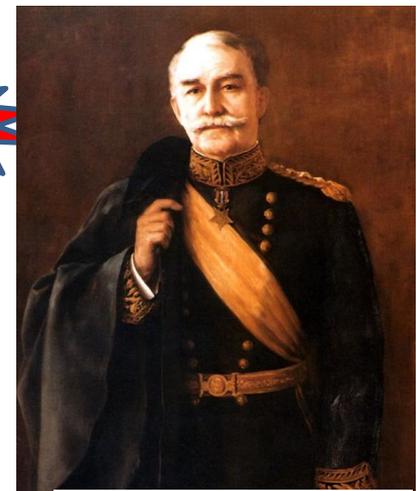
の囚人となる。

Fort Still

に行き

農民となった。

Pensacola



General Nelson Miles

Parker と Geronimo は、自分達の過去にしがみつかない、新しい秩序の  
先駆者となった。 Roosevelt の就任式にも参加

“インディアンは、  
白人の慈悲で生きて  
いく” とした。

# 最後の反乱

1888

Wovoka

Piute ( Nevada )

新しい宗教

“良心の持ち主でなければならない。そして、お互いに慈しみ、闘ったり、他人のものを盗んだり、嘘をついてはいけない。”

祈祷の儀式

弾丸、そして、死と言うものに対して耐性がある。

Sioux 族  
Arapahoe 族  
Cheyenne 族  
Kiowas 族

に、感傷的な願望と共に受け入れられていた。

## Ghost Dance

Sitting Bull

この神聖なる呪術を使っていた。

1890 Sioux 族の保護居留区  
Pine Ridge の代理人  
Rosebud

Royer

Sitting Bull と彼の仲間達の不穏な動きに対する防御のために

John R. Brook 将軍

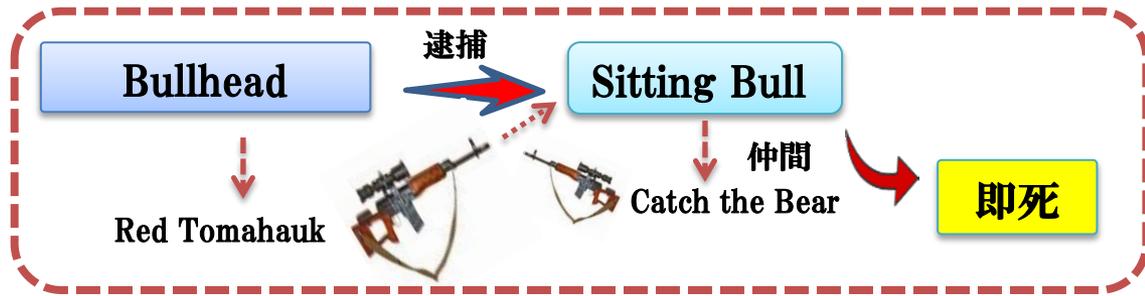
軍の派遣を要請

彼の軍が到着した時には、Ghost Dancers の集団は Badlands に逃げた後だった。



# Sitting Bull を追跡

大平原のインディアンに、このニュースが瞬く間に広がった。



この中に Custer が居た

戦争の合図となったのか

Sioux 族を絶滅させる血痕だったのか?

## Wounded Knee の大虐殺

さすらいの酋長

Big Foot

と356人

探していた酋長の一人

Pine Ridge Agent に向かう途中

S. M. Whitside 将軍



Wounded Knee Creek の大虐殺

Big Foot に無条件降伏を要求、酋長はこれに従う

12.28

Wounded Knee Creek

白人の、Forsyth 大佐は、Sioux 族を信用せず  
Sioux 族の間には、鎖で繋がれて、船で Florida に連れて行かれるという噂

馬を殺され



12.29

インディアンのキャンプを Hotchkiss 銃 曲射法

## 一斉射撃



# Wovoka

1950

Sioux 族は  
“事を捻じ曲げた” と悲しんだ。

「私の子供達よ、今日、私はお前さんたちが新しい道を進むようにお願いします。  
その道が、唯一つ開かれているのだ——それは、白人の男の道だ。」



1891.1.18 South Dakota の Pine Ridge に近くの U.S.で最大のthe Largest Hostile Indian Camp を視察している、Miles 将軍と Buffalo Bill

## 結 び

### Mitchell L. Bush, Jr. 一等兵の言葉

“われわれ、アメリカ先住民、は本質的にインディアンであり、そして、我々ができる最善のものとして平均的なアメリカ人のように生きている間、昔からの生活のやり方を守り通す。なぜ、あなた方、人々は、我々の土地を奪い、そして、アメリカという解けた容器の中に我々を押し込もうとして、これを終結させるようにと決断させられなければならなかったのか？

われわれ自身の保護居留区を空からご覧ください、そして、我々が何を見ているのか、ご覧下さい—迷路と化した電力線、塩の経路、ガスのライン、そして、水の供給路、2～3百エーカーにも広がるダム、北東部分を二等分している四車線ものある高速道路、そして、何のためなのかその理由がわからずに無くなったおおきな土地を！

“Iroquois族は初期のアメリカのために多大な貢献をして来た。それは我々のためにはないし、合衆国は民主主義でもなかったようだ。民主主義は、あなた方がやって来たヨーロッパでは、知られていなかったからだが、しかし、民主主義は、この大陸この地で満開に花開いた。Iroquois族は、あらゆる戦争と争いを通して、400年近くの間生き残り続けてきた。なぜ、我々が住んでいる土地に4方向の風を送り込んでまき散らし、その集結を呼ばなければならないのだ？”



Sitting Bull Monument の前で (サウス ダコタ)

**Thank you !**